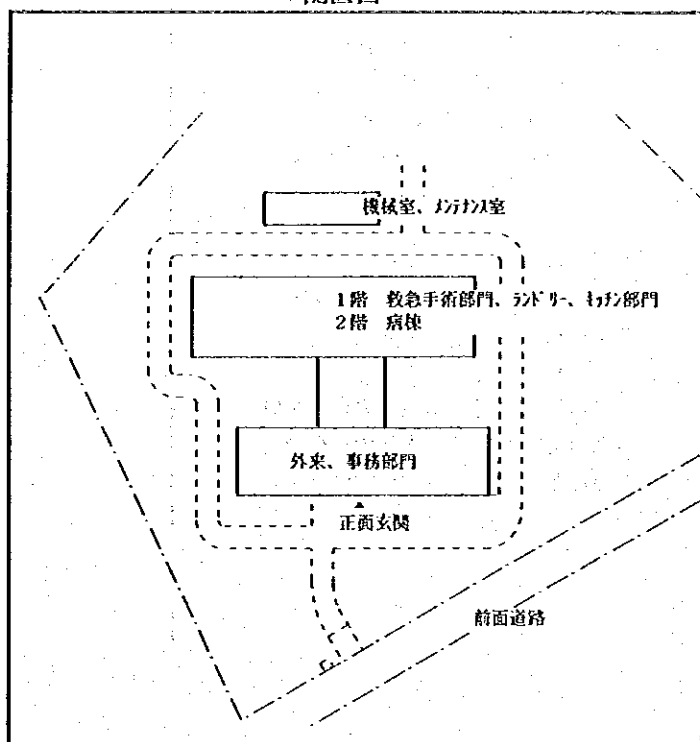


施設概要

① サン・ベニート国立病院

建築年代	: 1985年
構造形式	: コンクリート造
床面積	: 4800㎡
トランス容量	: 240KVA
電圧	: 120.83V (単相)
周波数	: 60Hz
停電状況	: 1~2回/月
	: 1~2時間/回
非常用電源設備	: 240KVA
給水設備	: 井戸水
一般排水処理	: 敷地内浄化槽処理
医療廃液処理	: 敷地内浄化槽処理
医療廃棄物処理	: 敷地内焼却

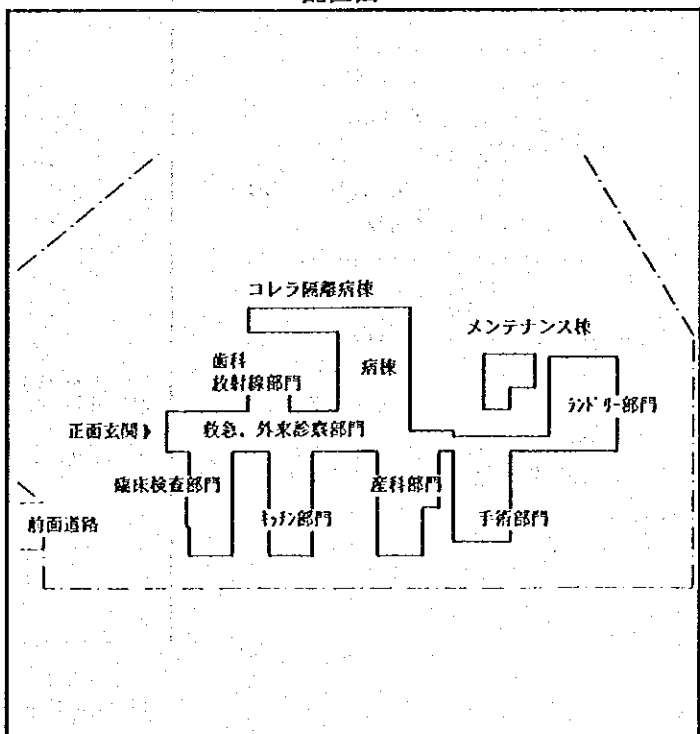
配置図



② メルチョル・デ・メンコス国立病院

建築年代	: 1965年
構造形式	: 煉瓦+コンクリート造
床面積	: 1800㎡
トランス容量	: 180KVA
電圧	: 112.43V (単相)
周波数	: 60Hz
停電状況	: 1~2回/月
	: 4~24時間/回
非常用電源設備	: 100KVA
給水設備	: 井戸水
一般排水処理	: 敷地内浄化槽処理
医療廃液処理	: 敷地内浄化槽処理
医療廃棄物処理	: 敷地内焼却

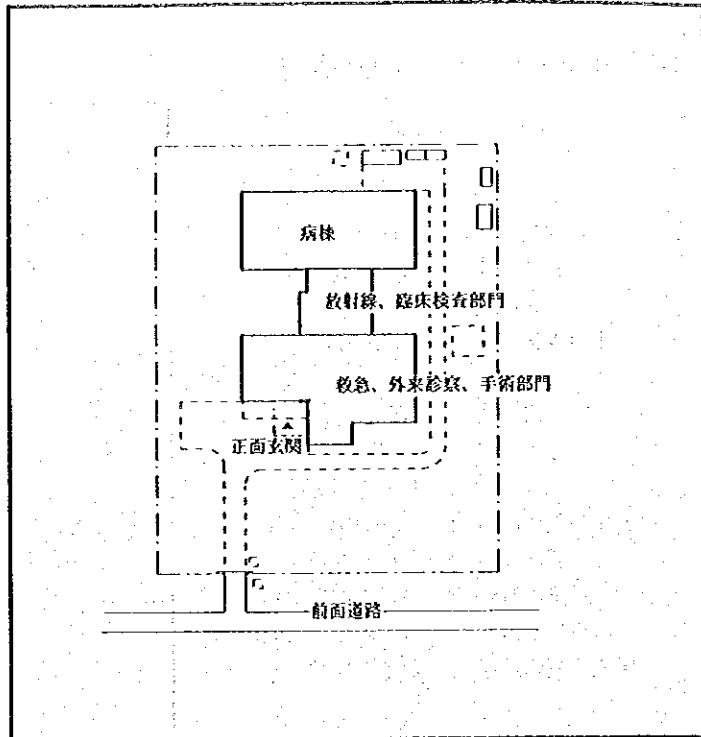
配置図



③ サヤステ国立病院

- 建築年代 : 1979年
- 構造形式 : コンクリート造
- 床面積 : 3600㎡
- トランス容量 : 100KVA
- 電圧 : 120.35V (単相)
- 周波数 : 60Hz
- 停電状況 : 4回/月
- : 4~8時間/回
- 非常用電源設備 : 35KVA
- 給水設備 : 市水
- 一般排水処理 : 敷地内浄化槽処理
- 医療廃液処理 : 敷地内浄化槽処理
- 医療廃棄物処理 : 敷地内焼却

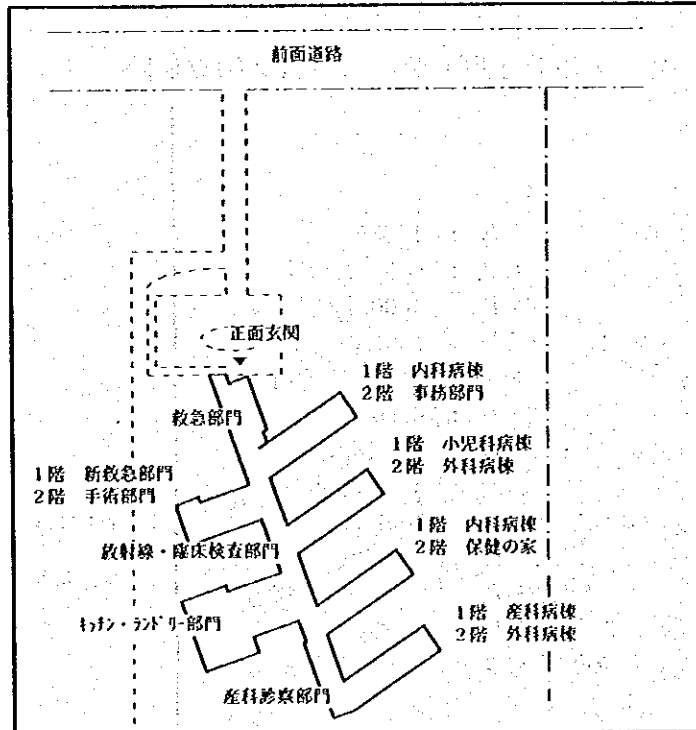
配置図



④ サカバ国立病院

- 建築年代 : 1959年
- 構造形式 : コンクリート造
- 床面積 : 8600㎡
- トランス容量 : 225KVA
- 電圧 : 105.81V (単相)
- 周波数 : 60Hz
- 停電状況 : 8回/月
- : 0.5~12時間/回
- 非常用電源設備 : 75KVA
- 給水設備 : 市水・井戸水
- 一般排水処理 : 公共下水接続
- 医療廃液処理 : 公共下水接続
- 医療廃棄物処理 : 敷地内焼却

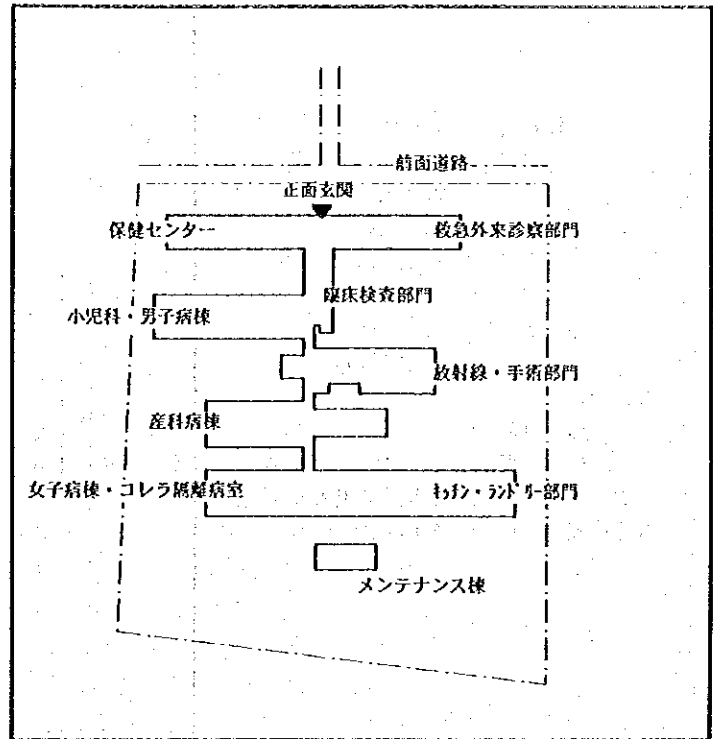
配置図



⑤ フティアパ国立病院

- 建築年代 : 1951年
- 構造形式 : 煉瓦造
- 床面積 : 5200㎡
- トランス容量 : 125KVA
- 電圧 : 116.92V (単相)
- 周波数 : 60Hz
- 停電状況 : 5回/月
- : 4時間/回
- 非常用電源設備 : -----
- 給水設備 : 市水・井戸水
- 一般排水処理 : 公共下水接続
- 医療廃液処理 : 公共下水接続
- 医療廃棄物処理 : 敷地内焼却

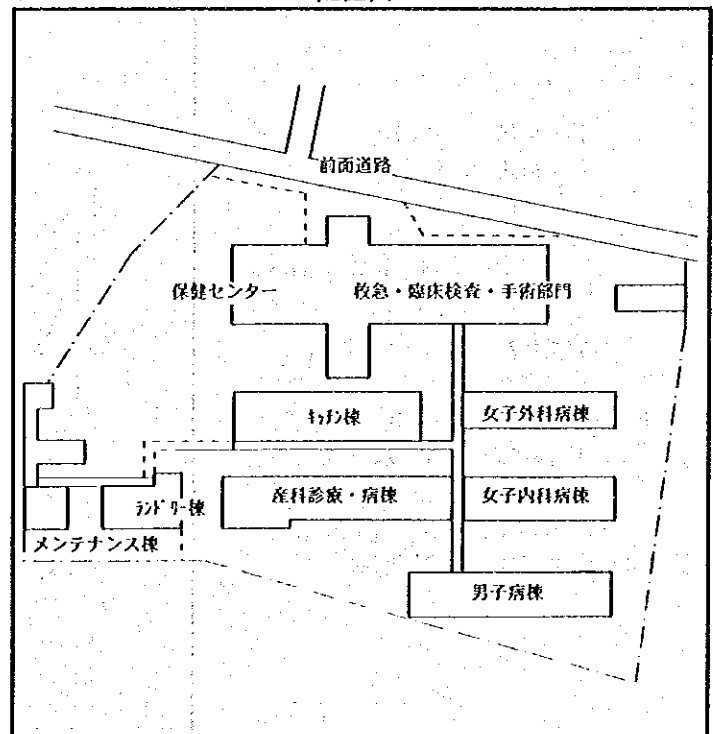
配置図



⑥ ハラパ国立病院

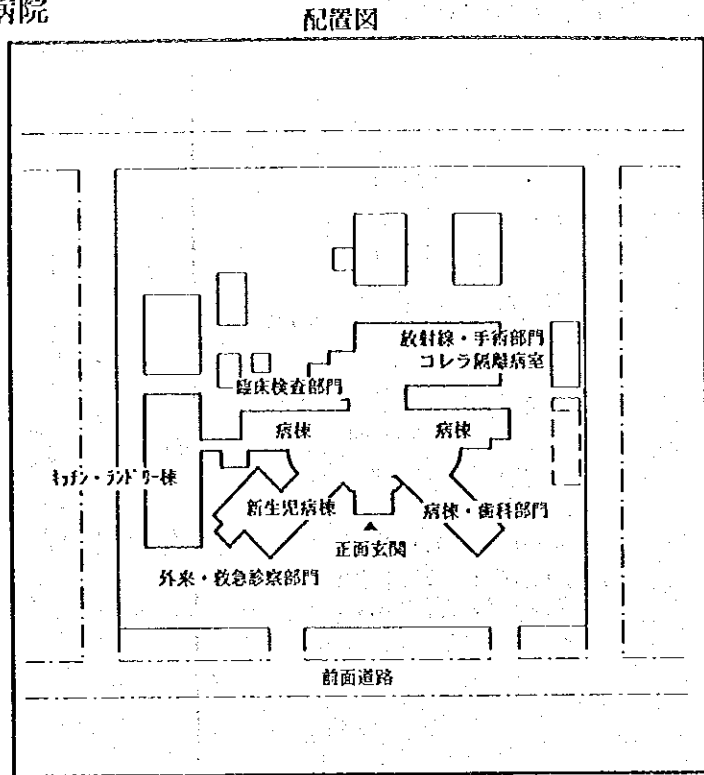
- 建築年代 : 1966年
- 構造形式 : 煉瓦+コンクリート造
- 床面積 : 5550㎡
- トランス容量 : 50KVA
- 電圧 : 114.1V (単相)
- 周波数 : 60Hz
- 停電状況 : 4回/月
- : 2時間/回
- 非常用電源設備 : 35KVA
- 給水設備 : 市水
- 一般排水処理 : 公共下水接続
- 医療廃液処理 : 公共下水接続
- 医療廃棄物処理 : 敷地内焼却

配置図



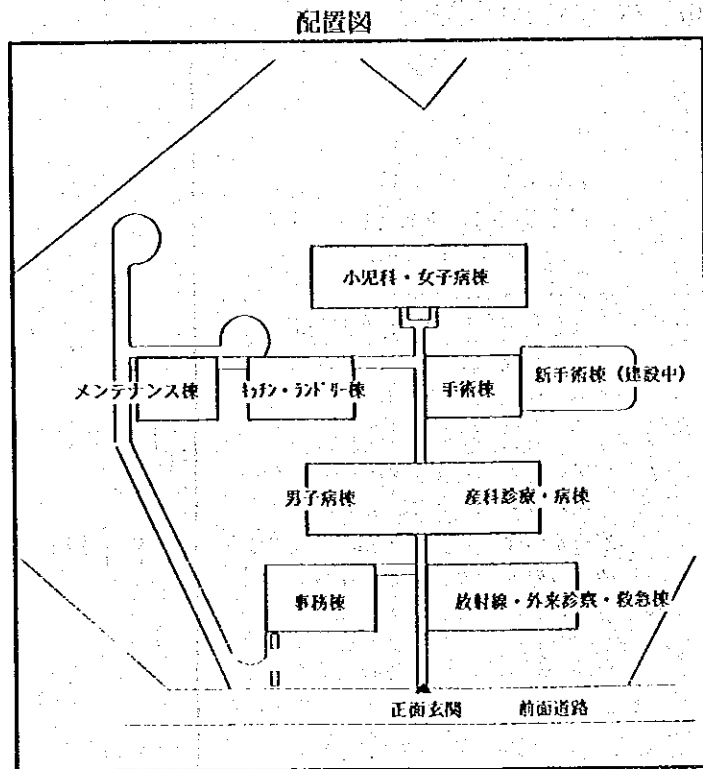
⑦ エリサ・マルティネス国立小児病院

- 建築年代 : 1963年
- 構造形式 : 煉瓦+コンクリート造
- 床面積 : 2000m²
- トランス容量 : 67.5KVA
- 電圧 : 131.43V (単相)
- 周波数 : 60Hz
- 停電状況 : 3~4回/月
- 非常用電源設備 : 55KVA
- 給水設備 : 市水
- 一般排水処理 : 敷地内浄化槽処理
- 医療廃液処理 : 敷地内浄化槽処理
- 医療廃棄物処理 : 分別回収



⑧ サン・マルコス国立病院

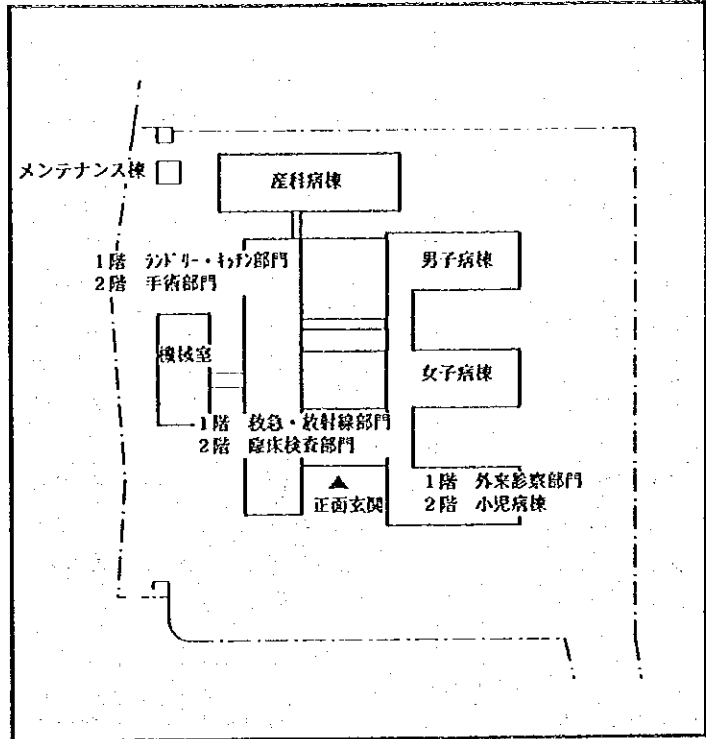
- 建築年代 : 1981年
- 構造形式 : 鉄骨造
- 床面積 : 7678m²
- トランス容量 : 201KVA
- 電圧 : 118.47V (単相)
- 周波数 : 60Hz
- 停電状況 : 15~20回/月
- 非常用電源設備 : 187KVA
- 給水設備 : 井戸水
- 一般排水処理 : 敷地内浄化槽処理
- 医療廃液処理 : 敷地内浄化槽処理
- 医療廃棄物処理 : 分別回収



⑨ コバン国立病院

- 建築年代 : 1979年
- 構造形式 : ブロック・コンクリート造
- 床面積 : 8100㎡
- トランス容量 : 74.4KVA
- 電圧 : 125.98V (単相)
- 周波数 : 60Hz
- 停電状況 : 5回/月
- 非常用電源設備 : 250KVA
- 給水設備 : 市水・井戸水
- 一般排水処理 : 公共下水接続
- 医療廃液処理 : 公共下水接続
- 医療廃棄物処理 : 分別回収

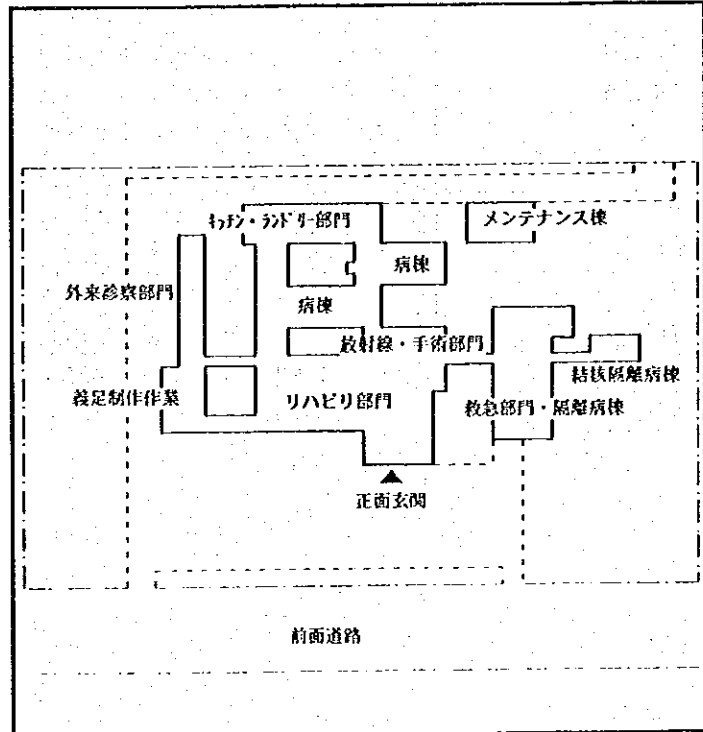
配置図



⑩ 国立小児感染症学病院

- 建築年代 : 1976年
- 構造形式 : 煉瓦造
- 床面積 : 4900㎡
- トランス容量 : 300KVA
- 電圧 : 121.26V (単相)
- 周波数 : 60Hz
- 停電状況 : 3~4回/月
- 非常用電源設備 : 63KVA
- 給水設備 : 井戸水
- 一般排水処理 : 公共下水接続
- 医療廃液処理 : 公共下水接続
- 医療廃棄物処理 : 分別回収

配置図



1. サン・ベニート国立病院

病院の位置付け	国立病院(総合病院)			
所在地	ベテン県、サン・ベニート市内			
上位照会先病院	ルーズベルト国立病院			
下位の病院等患者照会して来る施設	フローレンス等14ヶ所の保健センター及びメルチョル・デ・メンコス国立病院、サヤステ国立病院			
要員数(名)	医師	看護婦	その他の医療従事者	全要員数
	11	63	74	148
診療科目	外科、内科、産婦人科、小児科、整形外科			
外来患者の主な疾患	1)気管支炎、2)腸内寄生虫、3)下痢症、4)肺炎、5)骨折、6)急性上気道感染症、7)外傷、8)アメーバー性下痢症、9)各種耳炎、10)結核			
入院患者の主な疾患	1)出産、2)急性下痢症、3)胃腸疾患、4)外傷、5)肺炎、6)異常分娩、7)帝王切開、8)栄養失調症、9)流産、10)コレラ			
院外活動の状況	保健センター(Aタイプへの診療・治療の技術指導)			
ハリケーンによる被害状況	直接の影響はない。グアテマラ市に通じる幹線道路の橋の流失により、一時物資の輸送が途絶えたが、2週間ほどで回復した。			
医療サービス状況	年間外来・救急患者数		年間入院患者数	
	34,973		6,269	
既存機材の状況				
救急外来部門	1室(カーテンで3区分に仕切る)。処置台:3台中1台老朽化、検診灯:3台中1台不調、吸引器:3台不調			
臨床検査部門	3室。ヘマトクリット遠心器:1台老朽化、血液ピペット振とう器:1台老朽化、薬品保冷庫:2台老朽化、ヘモグロビンメータ:1台稼働中、分光光度計:1台老朽化、卓上高圧蒸気滅菌装置:2台中1台老朽化、卓上遠心器:1台老朽化、献血台:1台老朽化			
外科、手術室部門	手術台:2台中1台老朽化、无影灯:2台中1台老朽化、電気メス:1台老朽化、煮沸消毒器:1台稼働中、エアコン:1台稼働中			
産婦人科 新生児科	2室。分娩台:2台中1台老朽化、検診台:2台中1台老朽化、保育器:1台老朽化、解放型保育器:1台稼働中、血圧計:4台中1台老朽化			
X線室	1室。X線一般撮影装置:1台老朽化、移動診断用X線装置:1台故障中			
暗室	フィルム現像タンク:1台老朽化、電気乾燥機:1台稼働中			
中央材料滅菌室	高圧蒸気滅菌装置:4台中1台老朽化			
歯科治療室	歯科治療イス:1台老朽化、歯科用X線装置:1台故障中			
厨房	大型冷蔵庫:3台故障中、ガスレンジ:稼働中、フライヤー:稼働中、オープン:稼働中			
洗濯室	洗濯機:3台中2台故障、乾燥機:3台中1台故障、脱水機:1台故障			
ワークショップ	部屋は狭く雑然としている。溶接機、電気ドリル、グラインダー、工具等。			
救急車	救急車:今はなし、ピックアップ車:1台稼働中			

2. メルチョル・デ・メンコス国立病院

病院の位置付け	国立病院(総合病院)			
所在地	ペテン県メルチョル・デ・メンコス市内			
上位照会先病院	サン・ベニート国立病院			
下位の病院等患者照会して来る施設	P.S.エル・クルサデロ等4ヶ所の保健センター			
要員数(名)	医師	看護婦	その他の従事者	全要員数
	10	38	49	96
診療科目	1)外科、2)内科、3)小児科、4)産婦人科			
外来患者の主な疾患	1)急性呼吸器疾患、2)下痢症、3)腸内寄生虫、4)気管支炎、5)皮膚病、6)骨折、7)急性上気道感染症、8)各種耳炎、9)アムーバー性下痢症、10)外傷			
入院患者の主な疾患	1)コレラ、2)出産、3)急性下痢症、4)帝王切開、5)異常分娩、6)外傷、7)肺炎、8)喘息、9)流産			
院外活動の状況	保健センター(Aタイプ)への診療・治療の技術指導			
ハリケーンによる被害状況	ハリケーンの影響は特にない。			
医療サービス状況	年間外来・救急患者数		年間入院患者数	
	21,411		1,867	
既存機材の状況				
救急外来部門	診察台:2台老朽化、検診灯:2台老朽化、アンビュバック:1台老朽化			
臨床検査部門	ヘマトクリット遠心器:1台老朽化、献血台:1台老朽化、卓上遠心器:2台中1台不調、1台故障。天秤:1台稼働中			
外科、手術室部門	2室。手術台:2台中1台老朽化、无影灯:2台中1台老朽化、吸引器(小型):1台不調 小児用麻酔器:1台良好、パルス・オキシメーター:1台良好			
産婦人科 新生児科	1室。保育器(クローズ型):2台良好、保育器(開放型):1台不調、吸引器(小型):1台故障、 分娩台:1台良好			
X線室	1室。一般X線撮影装置:1台故障			
暗室	暗室のスペースが狭い。現像タンク:1台不調			
中央材料滅菌室	1室。蒸気滅菌装置(小型):1台不調、機材棚:2台あるが、数量不足。			
歯科治療室	歯科ユニット:1台老朽化			
厨房	縦型冷蔵庫:1台故障、ウォークイン冷蔵庫:1台故障、冷凍庫:1台稼働中ながら不調、 カスレンジ:稼働中、他に牧式のグリル使用。			
洗濯室	洗濯脱水機:2台中1台稼働、乾燥機:1台故障、シーツアイロン:1台故障			
ワークショップ	部屋は広いが雑然としている。溶接機、電気ドリル、工具等。			
救急車	救急車は1989年に故障して以来、使用不能。1978年製のピックアップトラック1台を物資の 輸送と救急患者の輸送に使用しているが、老朽化が激しく維持費が著しくかさむ。			

3. サヤステ国立病院

病院の位置付け	国立病院(1999年3月より昇格した。)(総合病院)			
所在地	ベテン県、サヤステ市内			
上位照会先病院	サン・ベニート国立病院			
下位の病院等患者照会して来る施設	P.S. サン・ホセ等10ヶ所の保健センター			
要員数(名)	医師	看護婦	その他の医療従事者	全要員数
	5	23	28	56人(その他にキューバの医師、看護婦など16名が働いている)
診療科目	1)外科、2)内科、3)小児科、4)産婦人科、			
外来患者の主な疾患	1)下痢症、2)腸内寄生虫、3)アメーバ性下痢症、4)皮膚病、5)肺炎、6)各種耳炎 7)気管支炎、8)骨接、9)外傷、10)結核			
入院患者の主な疾患	1)急性下痢症、2)出産、3)栄養失調症、4)泌尿器疾患、5)喘息、6)外傷、 7)胃腸疾患、8)帝王切開、9)異常分娩			
院外活動の状況	地域保健事務所(JE FATURA DE AREA)が病院施設の中にあり、地域保健促進事業は当事務所が担当し、病院は院内の医療活動に専念する。			
ハリケーンによる被害状況	特になし。			
医療サービス状況	年間外来・救急患者数	年間入院患者数		
	3,838	1,782		
既存機材の状況				
救急外来部門	診察台(処置兼用):1台老朽化、ネプライザー:1台不調、シャーカステン1台老朽化、 検診灯:1台老朽化、新生児体重計:1台老朽化			
臨床検査部門	大部屋。分光光度計:1台不調、顕微鏡:3台老朽化、卓上遠心器:1台不調、 恒温水槽:1台良好、カロリーメーター:1台良好			
外科、手術室部門	2室。うち1室は無影灯1台故障。電気メス:1台良好、吸引機小型:1台良好、 移動用手術灯:1台良好			
産婦人科 新生児科	1室。分娩台:1台良好、産科用手術台:1台良好、輸液ポンプ:1台稼働			
X線室	一般X線撮影装置:1台不調、移動用X線撮影装置:1台稼働中			
暗室	現像タンク:2台老朽化、フィルム乾燥機:1台不調、シャウカステン:1台故障			
中央材料滅菌室	手術用手袋散粉器:1台不調			
歯科	1室。医師不在のため現在は休診中。			
厨房	大型冷蔵庫:2台稼働中、冷凍庫2台:故障、製氷機:1台故障、ガスレンジ:稼働中、 フライヤー:稼働中、オープン:無し			
洗濯室	洗濯機:1台稼働中、乾燥機:1台故障、アイロン:2台故障			
ワークショップ	部屋は狭く、雑然としている。電気ドリル、工具等。			
救急車	救急車:無し、ピックアップ:1台不調			

4. サカバ国立病院

病院の位置付け	国立病院(総合病院)			
所在地	サカバ県 サカバ市内			
上位照会先病院	ルーズベルト国立病院			
下位の病院等患者照会して来る施設	サカバ 保健センターはじめサカバ県内の10カ所の保健センターが患者照会してくる。			
要員数(名)	医師	看護婦	その他の従事者	全要員数
	38	84	72	194
診療科目	内科、外科、小児科、産婦人科			
外来患者の主な疾患	1)気管支炎、2)下痢症、3)外傷、4)骨折、5)急性上気道感染症、6)アメーバ性下痢症 7)各種耳炎、8)皮膚病、9)腸内寄生虫			
入院患者の主な疾患	1)出産、2)急性下痢症、3)泌尿器疾患、4)帝王切開、5)喘息、6)流産、7)外傷、 8)心臓疾患、9)胃腸疾患、10)栄養失調症			
院外活動の状況	ヘルスセンターへの医療技術の指導。			
ハリケーンによる被害状況	周辺住民の栄養状態の悪化			
医療サービス状況	年間外来・救急患者数		年間入院患者数	
	43,779		12,190	
既存機材の状況				
救急外来部門	1室(大部屋を5つの診療ブースに区切る、建設中の新棟に4カ月後に移設の予定。) 診察台:4台不調、婦人科検診台:1台不調、麻酔機:1台良好、救急カート:1台良好 血圧計:2台故障、酸素流量計:2台中1台不調、小型吸引機:3台(容量不足)不調 ネブライザー:1台故障			
臨床検査部門	1室(移設の予定)。顕微鏡:2台不調、ヘマクトリット遠心機:1台不調、卓上遠心機:2台中1台不調、 遠心機3台中1台不調、分光光度計:1台良好、インキュベーター:1台不調、乾熱滅菌器:1台故障			
外科、手術室部門	3室(大手術室2、小手術室1)無影灯:1台老朽化、電気メス:1台稼働中、 移動用手術灯:1台稼働中			
産婦人科 新生児科	1室。分娩台3台中1台不調、1台老朽化。検診灯:2台中1台不調			
X線室	2室。X線透視・撮影装置:1台稼働中、X線撮影装置:1台故障、移動型X線装置:2台中1台不調			
暗室	現像タンク:1台不調			
新生児室(一部集中治療機能あり)	1室。光線治療器:2台(自家製)不調、保育器:3台中2台故障、患者監視装置:1台故障			
中央材料滅菌室	1室。高圧蒸気滅菌器5台中3台稼働、2台故障。手術用手袋散粉箱1台稼働中。			
厨房	ウォークイン冷蔵庫:1台不調、1台故障。堅型冷蔵庫:1台稼働中、冷凍庫2台中1台故障、 製氷器:1台故障、ガスレンジ:稼働中、フライヤー:稼働中、オーブン:稼働中			
洗濯室	洗濯機台:1台不調、乾燥機:4台中1台故障			
薬安室	洗淨台:1台			
ワークショップ	部屋は狭く雑然としている。溶接機、電気ドリル、グラインダー、工具等。			
救急車	救急車:1台故障中、ピックアップ:2台(80年式1台不調、98年式1台稼働中)			

5. フティアパ国立病院

病院の位置付け	国立病院(総合病院)			
所在地	フティアパ県フティアパ市内			
上位照会先病院	ルーズベルト国立病院			
下位の病院等患者照会して来る施設	フティアパ、エル・プログレッソ、サンタ・カタリナ・ミナ等県下17ヶ所の保健センター			
要員数(名)	医師	看護婦	医療従事者	全要員数
	15	57	55	127
診療科目	1)外科 2)内科 3)産婦人科 4)小児科			
主な大疾病(全診療)	1)外科 2)骨折 3)下痢症 4)泌尿器疾患 5)打撲傷 6)気管支肺炎7)感冒 8)消化器疾患 9)気管支ぜんそく 10)各種耳炎			
院外活動の状況	下位の医療機関である保健センターの医療技術指導			
ハリケーンによる被害状況	周辺住民の栄養状態の一時的悪化が見られた。			
医療サービス状況	年間外来・救急患者数		年間入院患者数	
	31,125		8,874	
既存機材の状況				
救急外来部門	1室(カーテンで3区分に区切る)。処置台:3台中2台老朽化、検診灯:3台中2台老朽化、吸引器:3台中2台老朽化			
臨床検査部門	ヘマクリット遠心器:2台中1台不調、薬品保冷库:2台不調、卓上高圧蒸気滅菌器:1台稼働中、卓上遠心器:2台不調、血液型用遠心器:1台不調、乾熱滅菌器:1台不調			
外科、手術室部門	2室。無影灯:2台老朽化、手術台:2台稼働中、吸引器:2台不調、麻酔器:2台不調、電気メス:1台稼働中			
産婦人科 新生児科	2室。分娩台:2台老朽化、検診灯:1台稼働中、保育器:1台不調			
X線室	1室。X線透視撮影装置:1台不調			
暗室	フィルム現像タンク:1台稼働中			
中央材料滅菌室	1室。中型滅菌器:2台不調			
厨房	ウォークイン冷蔵庫:1台稼働中、大型冷蔵庫:1台故障、冷凍庫:2台中1台不調、ガスレンジ:稼働中、フライヤー:稼働中、オープン:故障			
洗濯室	洗濯機:2台中1台故障、乾燥機:2台稼働中、脱水器:1台稼働中、アイロン:1台稼働中			
ワークショップ	1室。溶接機、電気ドリル、コンプレッサー、工具等。			
救急車	救急車:1台老朽化			

6. ハラパ国立病院

病院の位置付け	国立病院(総合病院)			
所在地	ハラパ県、ハラパ市内			
上位照会先病院	サン・ファン・デ・ディオス国立病院			
下位の病院等患者照会して来る施設	ハラパ等県下の20ヶ所の保健センター			
要員数(名)	医師	看護婦	医療従事者	全要員数
	12	34	119	165
診療科目	内科、外科、産婦人科、小児科			
入院患者の主な疾病	1)出産(正常分娩)、2)胃腸疾患、3)気管支肺炎、4)帝王切開、5)流産、6)下痢症候群、7)腸内寄生虫			
院外活動の状況	保健センター(Aタイプ)への診療・治療の技術指導			
ハリケーンによる被害状況	病院内の洗濯棟の床下の土砂が流失し、現有洗濯機2台の土上部が陥没した。ハリケーン後に多発した疾患は下痢症、皮膚病等である。			
医療サービス状況	年間外来・救急患者数		年間入院患者数	
	26,196		6,636	
既存機材の状況				
救急外来部門	1室(カーテンで3区分に仕切る)。処置台:3台中1台老朽化、検診灯:3台中1台不調 吸引器:3台不調			
臨床検査部門	3室。顕微鏡:3台中1台不調、ヘマトクット遠心器:1台不調、薬品冷蔵庫:2台老朽化、 分光光度計:1台稼働中			
外科、手術室部門	2室。手術台:2台稼働中、無影灯:2台老朽化、移動用手術灯:1台稼働中、吸引器:1台不調、 電気メス:1台稼働中、麻酔器:2台不調			
産婦人科 新生児科	2室。分娩台:2台老朽化、検診灯:2台中1台老朽化、吸引器:1台稼働中、保育器:1台稼働中、 非常用検診灯:1台稼働中			
X線室	1室。X線透視撮影装置1台不調			
暗室	フィルム現像タンク:1台老朽化、フィルム乾燥機:1台稼働中			
中央材料滅菌室	蒸気滅菌器:2台稼働中			
歯科治療室	歯科治療イス:1台老朽化、歯科用X線撮影装置:1台老朽化			
厨房	大型冷蔵庫:3台故障、ガスレンジ:稼働中、フライヤー:稼働中、オープン:稼働中			
洗濯室	洗濯機:3台中2台故障、乾燥機:3台中1台故障、脱水機:1台故障			
ワークショップ	部屋は狭く雑然としている。溶接機、電気ドリル、グラインダー、工具等。			
救急車	救急車:今はなし、ピックアップ車:1台			

7. エリサ・マルティネス国立小児病院

病院の位置付け	国立病院(小児病院)			
所在地	イザベラ県、プエルト・バリオス市内			
上位照会先病院	ルーズベルト国立病院			
下位の病院等患者照会して来る施設	プエルト・バリオス国立病院及び県下の28ヶ所の保健センター			
要員数(名)	医師	看護婦	医療従事者	全要員数
	13	62	71	146
診療科目	小児科のみ			
外来患者の主な疾病	1)急性呼吸器疾患、2)腸内寄生虫、3)下痢症、4)気管支喘息、5)外傷、6)皮膚病、7)骨折、脱臼、8)アメーバ性下痢症、9)栄養失調症、10)結核			
入院患者の主な疾病	1)下痢症、2)気管支肺炎、3)骨折、4)気管支喘息、5)打撲、6)腸内寄生虫、7)敗血症、8)急性呼吸器感染症9)胃腸炎10)未熟児			
院外活動の状況	当院の数地内に地域保健事務所があり保健普及活動はその事務所が担当するため、当院は病院医療活動に専念する。			
ハリケーンによる被害状況	寄生虫、下痢、急性呼吸器疾患、コレラ、気管支ぜんそく患者が増加した。			
医療サービス状況	年間外来・救急患者数		年間入院患者数	
	35,553		3,122	
既存機材の状況				
救急外来部門	2室。診察台:2台老朽化、診察台(小児用):1台(代用品)老朽化、検診灯:1台老朽化身長体重計:1台、車椅子:1台不調、薬品冷蔵庫:2台			
臨床検査部門	1室(現在拡張工事中)。顕微鏡:5台中2台不調、ヘマクトリット遠心機:1台不調 卓上遠心機:1台不調、冷蔵庫:1台不調、恒温槽:1台稼働、 分光光度計:1台稼働(試薬メーカーの貸し出し品)、卓上高圧蒸気滅菌器:1台不調			
外科、手術室部門	1室。手術台:1台故障、无影灯:1台故障、スタンド型手術灯:2台不調、麻酔機:1台不調、 呼吸器大型:1台不調、呼吸器小型:1台不調、シャーカステン:1台不調、シリンダー架台:1台不調			
X線室	1室。一般撮影撮影装置:1台不調、移動型X線装置:1台稼働			
暗室	現像タンク:1台老朽化、フィルム乾燥機:1台稼働			
新生児病棟 (一部集中治療機能)	1室(大部屋)保育器(クローズ型):1台稼働中、解放型保育器:1台稼働、光線治療器:1台不調、 輸液ポンプ:1台不調、新生児モニター:1台故障、薬品冷蔵庫:1台良好、車椅子:2台不調			
中央材料滅菌室	大型蒸気滅菌器:1台故障、中型:87・94年製2台不調			
歯科治療室	1室。歯科ユニット:1台老朽化、歯科用X線装置:1台稼働中			
厨房	ウォークイン冷蔵庫:故障、堅型冷蔵庫:3台不調、冷凍庫:1台不調、製氷機:1台故障			
洗濯室	洗濯機:2台中1台故障、脱水機:1台故障、乾燥機:2台中1台故障			
ワークショップ	部屋は広いが雑然としている。歯科ユニット用コンプレッサーあり。 溶接機、電気ドリル、工具等。			
救急車	ピックアップを独自に改装し、救急車としても活用している。			

8. サン・マルコス国立病院

病院の位置付け	国立病院(総合病院)			
所在地	サン・マルコス県、サン・マルコス市内			
上位照会先病院	サン・ファン・ディオス病院およびブルーズベルト病院			
下位の病院等患者照会して来る施設	県内の20カ所のヘルス・センター			
要員数(名)	医師	看護婦	医療従事者	全要員数
	29	81	106	216
診療科目	内科、外科、産婦人科、小児科、泌尿器科、理学療法科、ICU科			
外来患者の主な疾病	1)手術後検診、2)下痢、3)骨折、4)泌尿器疾患、5)肺炎、6)上部呼吸器疾患 7)ヘルニア、8)消化器疾患、9)高血圧症、10)腹痛			
入院患者の主な疾病	1)出産、2)下痢、3)難産、4)骨折、5)肺炎、6)流産、7)ヘルニア、8)盲腸、9)外傷、 10)打撲傷			
院外活動の状況	保健センター(Aタイプ)の診療技術指導			
ハリケーンによる被害状況	特になし。			
医療サービス状況	年間外来・救急患者数		年間入院患者数	
	41,398		8,495	
既存機材の状況				
救急外来部門	処置室2部屋、壁及びカーテンで4区分に仕切り(10m×8m)、救急手術室(4m×4m)整形用 手術台:1台、4灯式手術灯:1台、処置台:4台、検診灯:4台、吸引器:1台…全て稼働中			
臨床検査部門	血球ピペット振とう器:1台稼働中、ヘモグロビンメータ:1台稼働中、 卓上高圧蒸気滅菌装置:1台稼働中、献血台:1台老朽化、血液冷蔵庫:1台老朽化、 血液用遠心器:2台老朽化、乾熱滅菌装置:1台老朽化			
外科、手術室部門	5部屋(6m×6m/5部屋)。冷房あり。 手術灯4灯式:5台中1台老朽化、手術台:各5台中1台老朽化、吸引器:5台老朽化、 電気メス:3台稼働中、麻酔器:2台稼働中、パルスオキシメーター:4台稼働中、 蘇生器:1台稼働中等			
産婦人科 新生児科	1部屋(6m×6m) 分娩台:3台中1台老朽化、検診灯:3台中1台老朽化、吸引器:2台稼働中、保育器:稼働中 光線治療器:1台稼働中			
X線室	1室。X線透視撮影装置:1台老朽化			
暗室	手動式現像装置。フィルム乾燥機:稼働中			
中央材料滅菌室	大型蒸気滅菌器:2台稼働中、中型滅菌器:1台老朽化			
歯科治療室	歯科ユニット:1台老朽化、X-RAY:1台故障中			
厨房	大型冷蔵庫:3台稼働中、冷凍庫:1台稼働中、ガスレンジ:稼働中、フライヤー:稼働中 オーブン:稼働中			
洗濯室	洗濯機:3台不調ながら稼働中、乾燥機:3台不調ながら稼働中、脱水器台:不調ながら稼働中			
ワークショップ	部屋は広く整然としている。溶接機、電気ドリル、コンプレッサー、工具等非常に古く老朽化。			
救急車	救急車:2台。78年式1台、79年式1台稼働中。 ピックアップトラック:1台、8年製稼働中。			

9. コパン国立病院

病院の位置付け	国立病院(総合病院)			
所在地	マルタ・ベラパス県、コパン市内			
上位照会先病院	サン・ファン・デ・ディオス病院			
下位の病院等患者照会して来る施設	県下の17カ所のヘルス・センター			
要員数(名)	医師	看護婦	医療従事者	全要員数
	28	120	172	320
診療科目	内科、外科、小児科、産婦人科			
外来患者の主な疾病	1)産前検診、2)産後の検診、3)外傷、4)打撲、5)骨折、6)消化器疾患、7)流行性感冒、8)肺炎、9)盲腸炎			
入院患者の主な疾病	1)出産、2)帝王切開、3)流産、4)打撲、5)骨折、6)下痢症、7)外傷、8)肺炎、9)盲腸炎、10)消化器疾患			
院外活動の状況	院内業務活動に専念			
ハリケーンによる被害状況	周辺住民の死亡、9名。その他大雨により河川流域の農家の流失が多発。その後に多発した疾病;下痢症、呼吸器疾患等。			
医療サービス状況	年間外来・救急患者数		年間入院患者数	
	37,176		9,067	
既存機材の状況				
救急外来部門	1室をカーテンで区切る。診察台:9台(木製の台とストレッチャーで対応)不調、心電計:2台中1台不調、1台故障。ストレッチャー:4台不調、車椅子:3台不調			
臨床検査部門 (血液バンク)	2室。現在ラボの機材整備を世銀に申請中。血液バンクの機材のみの要請となる。 1室。血液保冷庫:1台老朽化、採血台:1台老朽化			
外科、手術室部門	3室。手術台:3台中1台老朽化、無影灯:3台中1台老朽化、麻酔機:3台中1台老朽化、吸引器:1台老朽化、電気メス:1台老朽化、パルスオキシメータ:1台不調			
産婦人科 新生児科	2室。うち1室;分娩台:1台老朽化、検診灯:1台稼働中、吸引機:1台不調、分娩台:1台老朽化、検診灯:1台老朽化、保育器:1台不調、光線治療器:1台、1室。超音波診断装置:1台不調			
X線室	1室。X線透視撮影装置:1台稼働中、移動型X線装置:1台稼働中			
暗室	自動現像機:1台故障、現像タンク:不調、乾燥機:1台故障			
集中治療室	各病棟のナースステーションに隣接する病床を充てる。ギャッチベッド及び酸素流量計、点滴架台等がある。心電計2台、男女病棟に各1台、うち1台良好、1台不調。女子病棟の検診灯1台不調。			
中央滅菌材料室	2室。高圧滅菌器(蒸気発生器付):2台中1台故障、中央蒸気供給型:2台稼働			
歯科治療室	歯科用椅子:1台老朽化、歯科用X線装置:1台老朽化、機械戸棚:1台老朽化			
厨房	ウォークイン冷蔵庫:2台、冷凍庫:1台、ガスレンジ:稼働中、フライヤー:稼働中、オープン:稼働中			
洗濯室	洗濯機:3台不調ながら稼働中、乾燥機:1台不調ながら稼働中、脱水器:1台不調ながら稼働中			
ワークショップ	部屋は広く、整然としている。電気ドリル、工具等。			
救急車	2台。1台98年型稼働中。残る1台87年型不調。			

10. 国立小児感染症学病院

病院の位置付け	国立病院(小児病院)			
所在地	グアテマラ県、グアテマラ市			
上位照会先病院	CT検査はサン・ファン・ディオス病院の協力を得る。			
下位の病院等患者照会して来る施設	サン・ファン・ディオス病院からの照会患者の受け入れ、市内および全国からの照会患者の受け入れ。			
要員数(名)	医師	看護婦	医療従事者	全要員数
	20	61	50	131
診療科目	感染症部門、リハビリテーション部門、外来診療部、救急外来部門			
外来患者の主な疾病	1)呼吸器疾患 2)耳炎 3)下痢症 4)扁桃腺炎 5)結核 6)気管支肺炎 7)咽頭扁桃腺炎 8)気管支過敏症 9)静脈瘤 10)膿痂疹			
入院患者の主な疾病	1)呼吸器疾患 2)気管支過敏症 3)中耳炎 4)下痢症 5)肺炎 6)静脈瘤 7)泌尿器疾患 8)表皮膿痂疹 9)結核 10)狂犬病			
院外活動の状況	保健センター(Aタイプ)への診療・治療の技術指導			
ハリケーンによる被害状況	特になし			
医療サービス状況	年間外来・救急患者数		年間入院患者数	
	16,366		2,148	
既存機材の状況				
救急外来部門	2室。処置台:3台、検診灯:3台中2台不調、吸引器:1台老朽化、ネプライザー:1台稼働中			
臨床検査部門	2室。顕微鏡:2台老朽化、薬品保冷庫:1台不調、血液保冷庫:2台稼働中、遠心器:2台中2台中1台老朽化、ヘマトクリット遠心器:1台稼働、インキュベータ:2台稼働中、オートグレーブ(卓上型):1台老朽化			
外科、手術室部門	2室。手術台:2台中1台老朽化、无影灯:2台中1台老朽化、非常用手術灯:2台稼働中、麻酔器:2台中1台不調、吸引器2台中1台不調			
X線室	X線透視撮影装置:1台稼働中、移動型X線装置:1台稼働中			
暗室	フィルム現像タンク:1台老朽化、フィルム乾燥機:稼働中			
集中治療室	1室(9ブース)パルスオキシメータ:1台稼働中、光線治療器:1台、人工呼吸機:1台老朽化、保育器:5台中4台稼働中、1台故障。			
中央滅菌材料室	1室。大型滅菌器:2台稼働、中型滅菌器:1台稼働中			
菌科治療室	機材なし。			
厨房	ウォークイン冷蔵庫:3台中2台故障、冷凍庫:1台不調、ガスレンジ:稼働中、フライヤー:稼働中、オーブン:稼働中			
洗濯室	洗濯機:2台中1台故障、乾燥機:3台中2台故障、脱水器:2台故障、アイロン:1台故障			
ワークショップ	部屋は狭く雑然としている。溶接機、電気ドリル、工具等。			
救急車	1台(ワンボックス型)を救急車として使用しているが老朽化している。			

第3章 プロジェクトの内容

第3章 プロジェクトの内容

3-1 プロジェクトの目的

3-1-1 プロジェクトの目的

本計画は国立病院(2 小児病院を含む 10 ヶ所の施設)で老朽化などにより機能が低下している機材の更新などにより各施設の医療サービス機能および運営機能の向上を図ることを一義的目的としている。さらに、本計画で選ばれた対象病院のうち 8 ヶ所の国立病院は先に実現した第一次、第二次「国立病院医療機材整備計画」で整備された全国的医療サービス・ネットをさらに充実する事になり、その結果をもって「国立病院網整備計画」を推し進め、さらに上位計画である国家開発計画の重要な目標の一つである僻地、あるいは地域の住民に良好な医療サービスの機会を拡大しようとするものである。残る 2 ヶ所の小児専門病院は隣接する国立病院の小児科の機能を補完する目的を持っている。

3-1-2 計画の内容

(1) 計画対象病院

本計画の対象施設は以下に示す地方中核都市における 8 ヶ所の総合病院、および 2 ヶ所の小児専門病院である。対象病院と所在地を表 1-2「要請対象病院」に示した。

(2) 要請機材の内容

1) 要請内容の確認

現地調査の過程で、各病院の院長に要請機材リストを提示し本調査の目的の説明とともに要請内容の確認を求めた。一方、調査団員は医療現場の調査と機材の使用担当者の意見の聴取を行った。その結果を院長に示し、再度協議・調整を行い病院側の要請リストとしてまとめた。

その後、国内で対象 10 病院の要請内容の点検を行った後、厚生省に示し、協議のうえ「グ」国側の最終要請機材リストとして取りまとめ、持ち帰り、国内解析を行った。その概要は表 1-3「主な要請機材等」で示したとおりである。

2) 国立病院の機材

対象病院のうち 8 ヶ所の国立病院は施設の規模等に相違はあるが、提供されている医療サービスおよび部門構成は類似性が高い。これらの病院の医療サービス部門とそれぞれの部門別に要請された主な機材は表 1-3「主な要請機材」に示したとおりである。

3) 小児専門病院の機材

エリサ・マルチネス国立小児病院は小児専門病院であるが、その診療部門及び管理部門は他の国立病院と類似している。一方要請される機材の種類は用途が小児用に限

第3章 プロジェクトの内容

第3章 プロジェクトの内容

3-1 プロジェクトの目的

3-1-1 プロジェクトの目的

本計画は国立病院(2小児病院を含む10ヶ所の施設)で老朽化などにより機能が低下している機材の更新などにより各施設の医療サービス機能および運営機能の向上を図ることを一義的目的としている。さらに、本計画で選ばれた対象病院のうち8ヶ所の国立病院は先に実現した第一次、第二次「国立病院医療機材整備計画」で整備された全国的医療サービス・ネットをさらに充実する事になり、その結果をもって「国立病院網整備計画」を推し進め、さらに上位計画である国家開発計画の重要な目標の一つである僻地、あるいは地域の住民に良好な医療サービスの機会を拡大しようとするものである。残る2ヶ所の小児専門病院は隣接する国立病院の小児科の機能を補完する目的を持っている。

3-1-2 計画の内容

(1) 計画対象病院

本計画の対象施設は以下に示す地方中核都市における8ヶ所の総合病院、および2ヶ所の小児専門病院である。対象病院と所在地を表1-2「要請対象病院」に示した。

(2) 要請機材の内容

1) 要請内容の確認

現地調査の過程で、各病院の院長に要請機材リストを提示し本調査の目的の説明とともに要請内容の確認を求めた。一方、調査団員は医療現場の調査と機材の使用担当者の意見の聴取を行った。その結果を院長に示し、再度協議・調整を行い病院側の要請リストとしてまとめた。

その後、団内で対象10病院の要請内容の点検を行った後、厚生省に示し、協議のうえ「グ」国側の最終要請機材リストとして取りまとめ、持ち帰り、国内解析を行った。その概要は表1-3「主な要請機材等」で示したとおりである。

2) 国立病院の機材

対象病院のうち8ヶ所の国立病院は施設の規模等に相違はあるが、提供されている医療サービスおよび部門構成は類似性が高い。これらの病院の医療サービス部門とそれぞれの部門別に要請された主な機材は表1-3「主な要請機材」に示したとおりである。

3) 小児専門病院の機材

エリサ・マルチネス国立小児病院は小児専門病院であるが、その診療部門及び管理部門は他の国立病院と類似している。一方要請される機材の種類は用途が小児用に限

られているが機材のレベルは国立病院の要請内容と類似している。

国立小児感染症学病院は、エリサ・マルチネス国立小児病院の要請機材に加えて物理療法に必要な赤外線治療器、渦流浴装置、リハビリ体操用機材等が要請されている。

3-2 プロジェクトの基本構想

3-2-1 計画の整合性

(1) 国立病院サービス・ネットの整備事業との整合性

「グ」国は厚生省の管轄下にある国立病院のサービス・ネットの整備を進める中、1992年に中央にある第三次病院であるルーズベルト国立病院、サン・ファン・デ・ディオス国立病院を含む5病院の医療機材整備計画を実施した(次表のグループ1参照)。95年には地方都市6ヶ所の国立病院と1ヶ所の保健センターの機材整備を行った(次表のグループ2参照)。

今般の要請はさらに8ヶ所の国立病院と2ヶ所の小児専門病院の機材整備を対象としている(次表のグループ3参照)。厚生省の説明によると近い将来残る国立病院等(グループ4)の病院の機材整備を計画しており、その計画が完了すると、現在進めている国立病院のサービス・ネットの整備事業は完了することになる。こうした経緯の中で、今回の計画は第三次計画と位置づけられ、対象病院の数も10ヶ所と多く「グ」国の国立病院網整備計画の中で重要な位置を占めるものであると理解される。

(2) 第一次、第二次計画及び上位計画との整合性について

「グ」国厚生省が進めている国立病院医療機材整備計画は我が国の無償資金協力により、第一次計画、第二次計画が実施され、本要請はその後の第三次計画となる。本計画による機材整備が完了すれば「グ」国の進める国立病院医療機材整備計画は全体の約70%完了する。その結果、「グ」国の保健政策(1999～2000年)の目標の一つである「病院サービスの向上」に大きく貢献する計画である。

表 3-1 厚生省の国立病院網整備計画にあげられた病院

グループ	計画名	対象病院等	所在県	実施年度
1	国立病院網 機材整備計画	①ルーズベルト国立病院 ②サン・ファン・デ・ディオス国立病院 ③クイラパ・サンタ・ロリア国立病院 ④エスクイントラ国立病院 ⑤チマルテナンゴ国立病院	グアテマラ市 グアテマラ市 サンタ・ロリア県 エスクイントラ県 チマルテナンゴ県	1992年
2	第二次国立病院網 機材整備計画	①ポプトン保健センター ②プエルト・バリオス国立病院 ③ソロラ国立病院 ④チキムラ国立病院 ⑤グアスクトーヤ国立病院 ⑥ティキサテ国立病院 ⑦サマラ国立病院	ペテン県 イザベラ県 ソロラ県 チキムラ県 エル・プログレソ県 エスクイントラ県 パッサ・ベラパス県	1995年
3	第三次国立病院 機材整備計画	①サン・ベニート国立病院 ②メルチョル・デ・メンコス国立病院 ③サヤスチェ国立病院 ④サカパ国立病院 ⑤フティアパ国立病院 ⑥ハラパ国立病院 ⑦エリサ・マルティネス国立小児病院 ⑧サン・マルコス国立病院 ⑨コミン国立病院 ⑩国立小児感染症学病院	ペテン県 ペテン県 ペテン県 サカパ県 フティアパ県 ハラパ県 イザベラ県 サン・マルコス県 アルタ・ベラパス県 グアテマラ市	
4	残りの病院リスト	①コアテペケ国立病院 ②マサテナンゴ国立病院 ③エル・キチェ国立病院 ④フェフェテナンゴ国立病院 ⑤マラカタン国立病院 ⑥ネバフ国立病院 ⑦ヨヤバフ国立病院 ⑧サン・ミゲル・ウス・シンタン国立病院 ⑨ア・チンタ国立病院 ⑩サン・バルトロメ・デ・ラス・カサス国立病院 およびその他の9国立病院	エスクイントラ県 スチテペケツ県 アルタ・ベラパス県 サン・マルコス県 サン・マルコス県 エル・キチェ県 エル・キチェ県 エル・キチェ県 アルタ・ベラパス県 アルタ・ベラパス県	

3-2-2 国立病院等の全体構想

(1) 対象病院の位置づけの確認

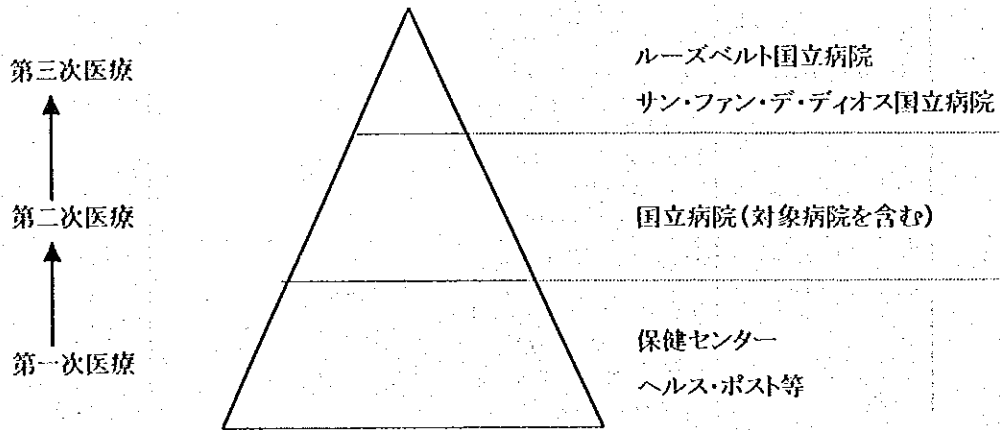
「グ」国では第三次医療サービスを行うルーズベルト国立病院及びサン・ファン・デ・ディオス国立病院を頂点とし、第二次医療サービスを担当する国立病院が続き、さらに保健センター、ヘルス・ポスト等第一次医療施設を底辺とするピラミッド型のサービス・ネット体制をとっている。これらの医療施設の位置づけを次の図に示した。

また、本計画の対象病院うち、小児感染症学病院はサン・ファン・デ・ディオス国立病院の機能を補完する小児病院であり、エリサ・マルチネス小児病院はプエルト・バリオス国立病院(第二次計画の協力対象病院の一つ)の小児科機能を補完する小児病院である。

本計画は上記で説明した国立病院のうち8ヶ所と小児病院2ヶ所の機材の整備を図

り「グ」国の医療サービス体制の中で地方にあって第二次医療サービスの回復、維持を図ろうとするものである。

図3-1 医療施設の位置づけ



(2) 機材整備の基本的考え方

1) 更新、補充の優先

要請された機材について、調査をとおして、現有機材が老朽化して十分な機能が得られないか、数的に著しく不足し、医療サービスの実施に支障が現れている機材の更新及び補充を優先的に図る。

2) 新規に導入を図る機材についての考え方

本計画では老朽化機材の更新及び数量的に不足している機材の補充を一義的に計画するが産婦人科用超音波診断装置など取扱いに新たな技術を要する機材については対象機材の取扱い経験のある専門医等が配置されている場合に限り導入を計画し、導入後の機材の有効活用が確保出来る計画にする。

3) 現地購入が比較的簡単な機材について

要請された機材のうち、ガラス器具セット、血球計算板セット、ダグラス窓穿刺セット等は価格も比較的安く、現地で購入も可能であるため、病院が消耗品と同様に独自に対応可能と判断し、計画から外す。

4) 維持管理が困難な機材について

我が国の無償資金協力により実施された第一次、第二次計画のフォローアップ調査の中で「問題のある機材」として指摘された機材の導入には代替機材の導入の可能性、取扱い経験のある医師、技術者の継続的確保の保証、「グ」国側のメンテナンス体制の

確保を十分に考慮した上で導入を図る。

5) 維持管理体制への協力について

対象病院での機材の維持管理は病院長の管理下で当該機材のユーザーと共に病院内の維持管理部門が担当している。しかし、機材修理の業務は民間の医療機材取扱い業者が病院側の要請に基づき修理を行っている。さらに、厚生省の調達・維持管理課が病院の医療機材の維持管理指導、監理を行っている。

上記の状況の中で、本計画で選定される機材でアフター・サービスが必要な機材については「グ」国にメーカーの代理店等があり、修理および消耗品等の国内調達が可能な機材を選定する。

さらに、十分なメンテナンスが必要と判断されるX線装置、産・婦人科用超音波診断装置、患者監視装置等の機材については定期点検等の契約に応じられる現地代理店を有する機材を調達するように協力する。

6) 個別機材の検討方法

現地の病院の調査・協議をとおして、一部機材は要請書に記載されている部・課とは別な場所への導入が効果的と判断されたものもある。それらについては、設置場所を変更する等の措置をとり、現場のニーズに対応することを優先させた。また複数部門から重複要請のある機材に関しては新たに総合という分類を設け、病院全体の必要性を視野に入れて、解析を加える。

3-2-3 要請内容の検討

(1) 対象病院の役割・機能の検討

1) 国立病院

対象病院のうちサン・ベニート国立病院、コバン国立病院は地域総合病院と称されているが、他の国立病院と明確な区別はなく、対象病院は地域の主要都市にあつて、主に県内の住民を対象とした第二次医療サービスを提供する総合病院である。

これらの病院は県下の保健センター、あるいはヘルス・ポスト等からのレファラル患者および直接来院する患者の診療にあたり、重症、重病のケースはグアテマラ市内にあるルーズベルト国立病院あるいはサン・ファン・デ・ディオス国立病院に患者を転送し、より高度なケアをしてもらっている。ペテン県のメルチョル・デ・メンコス国立病院およびサヤスチェ国立病院はサン・ベニート国立病院に患者照会を行い、サン・ベニート国立病院が必要に応じて、さらにルーズベルト国立病院に患者照会を行っている。

2) 国立小児感染症学病院及びエリサ・マルチネス国立小児病院

国立小児感染症学病院はサン・ファン・デ・ディオス国立病院の小児科の機能を補完する病院であり、小児専門の感染症及びリハビリテーションを中心にサービスを行っている。

る。また、エリサ・マルチネス国立小児病院は近接するプエルト・バリオス国立病院の小児科部門の機能を補完する小児専門病院である。

3) サービスの内容の確認と機材整備の取り組み

対象となる 8 ヶ所の国立病院は診療科目として、内科、外科、小児科、産・婦人科、外来部門および救急外来部をもち外来および入院患者の診療にあたっている。また 2 ヶ所の小児病院は専門病院として小児患者を対象に入院、外来および救急外来診療を行っている。1998 年の各病院の年間活動状況は次表のとおりである。本計画が実施される時点でも患者数の増加は見込まれるものの、基本的に現在の活動内容が継続されるものと判断する。従って、本計画では機材の調達の主な目的は、現有の機材の不足、あるいは老朽化により機能低下が著しい機材の更新、補充を図ることにより、現在質的に低下が懸念されている医療サービスの回復及び維持を図ることに重点を置き、高度な機材の導入により診療レベルの高度化を図ろうとするものではない。

表 3-2 対象病院の年間活動状況(1998)

活動項目	(1) サン・ベニ ト	(2) マルティ ン・マル コス	(3) サヤス チ	(4) サカ バ	(5) フレイ バ	(6) ハラ バ	(7) エリ サ・ マル ティ ネ ス	(8) サン・ マル コ ス	(9) コ バ ン	(10) 小児感 染 症 学
外来診療	16,590	15,500	*11,665	15,738	12,220	11,309	31,620	25,202	21,645	11,368
救急外来診療	18,383	5,911	*5,082	28,041	18,905	14,887	3,933	16,196	15,531	4,998
歯科診療	-	1,317	-	-	-	2,688	3,956	2,695	1,799	-
病床数	89	42	*45	139	116	79	70	115	264	75
延べ病床利用数	22,751	5,498	-	42,276	32,127	19,156	16,849	35,257	54,782	19,892
退院患者数	6,269	1,867	*1,329	12,190	8,874	6,636	3,122	8,495	9,067	2,148
分娩数	1,441	360	*198	2,408	3,023	1,401	-	1,818	2,909	-
臨床検査数	66,867	35,990	*9,943	144,943	59,227	112,121	54,375	112,603	134,658	33,015
外科手術数	1,363	355	*213	3,219	4,070	733	705	3,287	2,553	432
X線撮影数	6,525	-	*1,143	15,952	7,548	5,252	4,475	9,247	6,523	5,999
給食数	29,162	16,009	-	63,600	46,898	45,982	25,874	50,868	118,128	26,673
滅菌処理件数	54,009	58,378	-	104,656	54,148	195,086	8,268	43,744	206,227	6,168
処方箋発給数	12,423	10,313	-	26,347	38,849	22,292	15,043	72,693	24,451	9,746
洗濯数	199,949	27,426	-	253,136	177,883	96,847	286,840	241,773	631,236	268,945

出典:厚生省資料 *印は病院資料による。

4) 計画の規模の設定

対象病院の過去 5 年間の外来、救急及び入院患者数の推移を次の表で解析し、外来および救急外来患者数は 5 年間に 1.73 倍、入院患者数は 1.27 倍増加したことを確認した。この増加率を基礎に対象病院の 5 年後の患者数増加傾向を次のように推定し、本計画の規模および機材計画の基礎とした。

- ・外来および救急診療数 :約 1.7 倍
- ・入院患者診療数 :約 1.3 倍

しかしサヤステ国立病院は本年3月に保健センターから国立病院に格上げされ、病床数の増加、キューバの協力による医師等要員の著しい増加が確認された。このように病院固有の要素があるものは個別に対処する。

表 3-3 5年間の外来及び救急外来患者数の推移

単位:人

	病院名		1994年	1998年	増減率
1	サン・ベニート国立病院	外来患者数	4,617	16,590	359%
		救急患者数	10,618	18,383	173%
2	マルチョル・デ・メコス国立病院	外来患者数	13,209	15,500	117%
		救急患者数	4,553	5,911	130%
3	サヤステ国立病院	外来患者数	-	3,838	-
		救急患者数	-	-	-
4	サカハ国立病院	外来患者数	6,471	15,738	243%
		救急患者数	19,476	28,041	144%
5	フティハ国立病院	外来患者数	4,660	12,220	262%
		救急患者数	15,024	18,905	126%
6	ハラハ国立病院	外来患者数	5,473	11,309	207%
		救急患者数	8,787	14,887	169%
7	エリサ・マルティネス国立小児病院	外来患者数	26,465	31,620	119%
		救急患者数	2,678	3,933	147%
8	サン・マルコス国立病院	外来患者数	6,117	25,202	412%
		救急患者数	10,256	16,196	158%
9	コバン国立病院	外来患者数	5,082	21,645	426%
		救急患者数	11,210	15,531	139%
10	国立小児感染症学病院	外来患者数	9,745	11,368	117%
		救急患者数	1,642	4,998	304%
	合計	外来患者数	81,839	161,192	197%
		救急患者数	84,244	126,785	150%
	総計		166,083	287,977	173%

注:合計、総計数にはサヤステの数は含まれていない

出典:厚生省資料

表 3-4 5年間の入院患者数の推移

単位:人

	病院名	1994年	1998年	増減率
1	サン・ベニート国立病院	4,882	6,269	128%
2	メルチョル・デ・メンコス国立病院	1,348	1,867	139%
3	サヤスチ国立病院	-	1,782	-
4	サカパ国立病院	11,095	12,190	110%
5	フティアパ国立病院	7,684	8,874	115%
6	ハラパ国立病院	4,827	6,636	137%
7	エリサ・マルチネス国立小児病院	3,040	3,122	103%
8	サン・マルコス国立病院	5,570	8,495	153%
9	コパン国立病院	6,607	9,067	137%
10	国立小児感染症学病院	1,174	2,148	183%
	合計	46,227	58,668	127%

注:合計、総計数にはサヤスチの数はふくまれていない

出典:厚生省資料

(3) 主要要請機材及び設置部門の検討

① 臨床検査科

対象病院では基本的に検査すべき項目は厚生省の指導で標準化されている。各病院で実施されている臨床検査項目は血液検査、生化学検査、病理検査および尿、便の検査におよぶ。本来同レベルの病院では患者数と臨床検査数は正比例的な関係にあるべきものであるが、ハラパ国立病院では外来、救急および入院患者の合計数の約3.4倍であるのに対し、サヤスチ国立病院では約1.5倍となっている、病院ごとにこの倍率に差が生じる要因としては検査要員の確保、機材状況および試薬の確保等にむらがあるためと判断される。しかし本計画では現在確保されている要員数を前提に必要な検査機材の整備を図る。一方、血液ガス分析装置、電解質測定装置など維持管理が困難と判断される機材は計画から除外する。また血液銀行での採血、検査および血液保管に関しては、現在行われている血液型検査、感染検査が適切に実施できるように老朽機材の更新、補充を図る。しかし、院内で手術等に必要となる輸血に対応する機能に止め他の病院に血液を提供する機能は計画しない。

② 放射線科

対象病院での X 線装置の利用は内科的患者より骨折等外科的患者の診断が多い。また外科用 X 線装置が導入されていないため、透視機能のある装置は骨の接合部の観察には有用なものと判断される。従って、フティアパ、ハラパ、サン・マルコス国立病院の老朽化した X 線透視診断装置の更新を図る。また、一般 X 線撮影装置についてもサン・ベニート、メルチョル・デ・メンコス、サカパ、エリサ・マルチネスの現有機は老朽化が著しく、機能低下あるいは使用不能であることから、更新を図る。

③ 麻酔・救急及び小児救急部門

この部門で要請された機材のうち、麻酔器(ベンチレーター付)等は各病院の手術件数、手術室の使用状況および現有機材の可動状況を検討し、老朽化機材の更新を図る。計画機材のレベルは現有機材とほぼ同じとする。

ほとんどの対象病院には現在ICU室はなく、ナースセンターに隣接する病床の一部を利用して、手術後のリハビリおよび重症患者のケアを行っている。従ってこのエリアでの重症患者のケアに最低限必要となるICU機材の導入を図る。パルスオキシメーター(大人、小児用)、蘇生器具セット、除細動装置等の機材も整備する。

小児救急部門についても対象病院の対応は上記と同様であることから、同じ考え方で機材整備を図る。

④ 産科・婦人科

対象病院の産科、婦人科の主な現有機材は分娩台、検診台等であるが老朽化が著しく、基礎的診療、出産介護機材も不足している。本計画ではこれら老朽機材の更新、補充に加え、専門医の配置されている病院に限定し、婦人科用超音波診断装置、コルポスコープの導入を図り、異常妊娠および婦人病等の早期発見等を図り、同部門の医療サービスの改善を図る。

⑤ 新生児科

新生児室の主な現有機材は保育器、光線治療器等であるが、老朽化および故障等により数量が不足している。これら機材の更新及び補充を図り、軽度な未熟児等の短期間の介護を可能にする。しかし、重度未熟児、重症児は搬送用保育器および救急車を使い、上位病院に搬送することとし、対象病院にはこれらの患者を診療する機材は導入しない。

⑥ 外科・手術室

外科・手術室の主な機材は手術台、无影灯、電気メス、吸引器および各種手術(鉗子類)である。各病院の現有機材は老朽化の著しいため、これら機能低下した機材の更新あるいは補充を図り、現在実施されている手術レベルが維持され、さらに年間6%の患者の増加に対応可能な計画にする。

⑦ 中央滅菌室

対象病院の滅菌器は故障が目立つ。故障により手術器材等が適切に滅菌されないケースが懸念される。本計画では各対象病院の現在故障、あるいは老朽化した機材の更新を重点的に行う。また更新する滅菌器は電気式の仕様とし、中央蒸気供給装置の故障の影響を受けないように考慮する。

⑧ 歯科部門

サン・ベニート国立病院は機材が故障しているため、別の保健センターに歯科医を派遣して診療を続けているため、本病院の機材を整備し、従来通り院内で治療が出来るようにする。しかし歯科ユニットの機能は、抜歯および軽度な治療に対応できる基本的なものに限定する。歯科は地方都市でも開業医によるクリニックの開設も見受けられるため、これら民間施設との共存を考慮し対象病院でのサービスのレベルは限定する。また口腔外科セット等は上位施設にリファラルすべき医療とみなし、計画から外す。

⑨ 管理部門

管理部門の要請機材は主として救急車、医療サービス用ピックアップトラック、パソコン等である。

・救急車

対象病院(小児感染症学病院を除く)は第二次病院であり、常に当該病院で対応できなくなった患者を上位病院に搬送し、高度な医療を受けさせる必要がある。一方、ほとんどの病院の救急車は老朽化が著しく、患者の搬送に支障を来している。これらの状況を改善するため、対象病院の救急車の整備を図る。

また、小児感染症学病院では重度のリハビリ患者の通院の補助及び、上位病院への患者の搬送に供する目的で導入を図る。

・医療サービス用ピックアップトラック

医療巡回車は対象病院では院内での診療がほとんどで、学校あるいはコミュニティーに巡回して診療するケースはほとんどなく、主な用途は要員の搬送、病院運営に必要な資機材の搬送である。これらの用途は直接的医療サービスとは考え難く、むしろ病院独自の予算で手当すべき機材と判断して、計画から外す。

・パソコン

パソコンの用途は対象病院によりまちまちである。また病院業務管理書類のフォームの統一化も検討段階である。こうした状況下ではパソコンの導入効果を明確化することが困難であること、また、厚生省および対象病院でも独自にパソコンの導入が進められていることが確認されたため、本計画からは除外する。

⑩ キッチン機材

厨房施設は入院患者及び要員の給食を賄っている。入院患者への給食サービスは病院の業務として欠かせない部分であるが、本計画では直接的に患者診療に供する医療機材を優先させ、計画から外す。

⑪ ランドリー機材

ランドリー機材もキッチン機材同様入院患者の衛生的管理には必須な機材と理解するがキッチン機材と同じ理由で計画から外す。

⑫ 維持管理部門

現地調査の過程で確認された維持管理部門の機材の大半は病院の建物、設備の修理を対象としたもので構成されており、本計画で導入を図ろうとする医療機材の修理には直接役に立たないと判断される。このため、要請された修理機材に替えて、医療機材の修理に対応する基礎的な修理機材の導入を計画する。

⑬ 物理療法部門

物理療法部門は小児感染症病院のみにあるため、他の病院には導入しない。機材レベルは現在小児感染症病院で使用されている老朽化機材および故障等で使用できなくなった機材の更新を主に、一部基礎的小児リハビリテーションに必須と判断される機材を計画する。

⑭ 総合

調査の過程で吸引器、車椅子、血圧計、検診灯等は手術部門、産婦人科、病棟のナースステーション等複数の部門で要請があるため、病院の全体業務を視野に入れ、緊急性の高い部門の機材の整備を優先させる。

(4) 技術協力の必要性

1) ユーザーに対する技術協力の必要性

本計画で一部新規機材の導入が計画されているが、厚生省により対象病院にそれら機材の使用経験のある専門医の継続的配置が保証された病院に限定して導入を計画するため、技術協力の必要はない。

2) 維持管理に対する技術協力の必要性

病院の維持管理要員の能力は充分とは言えないが(サン・マルコスを除く)、医療機材の修理の大半は代理店の技術者により行われている現状の中では、メンテナンス関係の技術協力の効果は期待しにくいと判断する。また、計画機材は代理店の技術者が対応できるレベルのものを選定する。

3-3 プロジェクトの最適案に係る基本設計

3-3-1 設計方針

(1) 自然条件に対する方針

計画対象地域は熱帯性気候であることから、防湿性、耐高温性を重視した機材選定

を行う。

(2) 社会条件に対する方針

「グ」国は地方分権化を進めており、対象病院も機材の維持管理予算等が病院独自の予算にも組み込まれるようになっている。このため対象病院は機材の運営・維持管理に従来より大きな責任を持つことになる。従って機材選定においても対象病院の現状の機材の運営・維持管理能力のレベルを条件に入れる。

(3) 現地業者・現地調達機材の活用についての方針

消耗品を必要とする機材については、現地の市場にて調達が可能機種を選定する。また定期的な保守・維持管理を必要とする精密機材(X線装置、超音波診断装置、滅菌機等)については、メーカーの現地代理店等の定期検査の実施を提案する。

(4) 実施機関の維持管理能力に対する方針

対象病院の維持管理部門で機材の故障に対応することには限界があるため、病院が民間会社に資金面で円滑に修理要請が出せる体制作りを促す。

(5) 調達機材の範囲・グレードの設定に対する方針

- ① 対象病院で現在行っている医療サービスに必要な直接的医療機材の調達を優先させ入院患者のケアに必要となる厨房機材、ランドリー機材は計画から外す。
- ② 導入を計画する機材は現在使用中と同等レベルのもの、あるいは現在の医療技術者の経験・知識で対応出来るレベルとする。また、産婦人科用超音波診断装置など新規機材の導入にあたっては、当該機材の使用経験のある専門医の継続的配置が保証された場合に限る。

(6) 工期に対する方針

本計画の実施は1期で完了するものとし、工期はE/N交換後11.8カ月以内とする。

(7) ソフト・コンポーネントの実施

本計画の実施の過程でソフト・コンポーネントの実施を計画する。ソフト・コンポーネントでは機材の日常点検マニュアル(西語)の作成、病院内での機材維持管理体制、特に機材故障時の対応の迅速化等を邦人コンサルタントが指導し、供与機材の有効活用の効果を狙う。

3-3-2 基本計画

(1) 全体計画

1) 設計に係る考え方

本計画は「グ」国の病院医療サービス・ネットの回復・維持に必要な医療機材の整備を目指し以下の方針をもって基本設計を行う。

[需要面での設計方針]

1. 計画機材は主に総合病院の医療に必要な基礎的な機材の選定をする。また 2 ヶ所の小児専門病院には専門性を考慮した機材選定を行う。
2. 計画機材は研究用ではなく、疾病の診断、治療に供するものであること。
3. 整備の対象は現有する機材のうち、老朽化した機材の更新、補充に重点をおき、新規機材の導入は慎重に扱う。

[財務分析関係での設計方針]

1. 計画機材は、導入後の運営コストが比較的安価で対象病院および厚生省が財政的に維持し得るものであること。
2. 計画の規模は現状の機材運営費で賄える範囲とする。
3. 計画の規模は計画対象施設の運営管理能力で対応可能な範囲であり、かつ財務的、技術的自立発展性を確保し得る範囲にする。

[技術面での設計方針]

1. 計画機材は特別な医療技術者の養成を必要とせず、現有の要員、技術レベルで対応し得るものであること。
2. 調達機材は過去に実施した「1992 年度 国立病院網機材整備計画」及び「1995 年度 第二次国立病院網機材整備計画」で調達された機材のレベルを参考に代理店の技術レベルで修理可能な機材に限定する。

[インフラ・自然条件等の設計方針]

1. 計画機材は「グ」国の熱帯性気候の自然条件に耐え得る性能を有するものであること。
2. 継続的に電力を必要とする手術灯(スタンド型)等については電圧低下時および停電時においても稼働可能となるよう無停電装置等の調達を計画する。
3. 電圧の変動による機材の故障を回避するため、電子医療機材等に対して上下 20% の電圧変動に対応し得る自動電圧安定装置(AVR)の調達を図る。
4. 中央滅菌室の高圧蒸気滅菌装置等は軟水化対策を構じる。

[機材調達計画における設計方針]

1. 計画機材には計画実施後の稼働に最低限必要な消耗品等の調達を計画する。
2. 地域の医療技術者が長年にわたり操作に精通していることや、代理店による保守・維持管理の体制が確立されていること、さらに価格の優位性等を考慮に入れ、X 線

装置、高圧滅菌器、エアコンおよび分光光度計等については第三国(欧州・米国)からの調達を計画する。

3. 同一機材が複数要請されている場合、使用される部門の需要に合わせて仕様の違う機材も考慮する。例えば車椅子が複数要請されている場合、必要に応じて大人用および小児用に分けて対応する。

[環境問題等に係る設計方針]

1. X線装置の調達については当該X線室が国際放射線防護委員会(ICRP)の放射線漏洩防御基準を充たすよう「グ」国側の負担にて以下の整備を行うよう提言する。
 - ① 高さがX線管装置の最高値より低い窓や通気口などをコンクリートブロック等による閉鎖。
 - ② 鉛シートで処置されたドアの設置。尚、放射線技士等を放射線被曝から保護するため、すべての施設の放射線室へは本計画にてX線防護用具を調達する。
2. 将来における環境汚染の問題を回避するため、医薬品冷蔵庫は非フロンガス規定の冷媒(3種混合フロンガス)を使用した機種を計画する。

[維持・運営管理面での設計方針]

1. アフター・サービスを必要とする機材は製造業者の現地代理店が適切な使用方法、管理方法の研修および迅速に修理が出来る機材の調達を図る。
 2. 導入後に継続的メンテナンスを必要とする機材については対象病院に現地代理店による定期点検の実施を要請する。
 3. 厚生省、対象病院に対し前項で述べた定期点検および機材の故障、消耗品の購入にかかる経費に対して十分な予算措置を購じるよう提案する。
 4. 機材の納入・据付時に対象病院の取扱担当者に対し、操作方法、日常点検方法等の説明を行う。特にX線装置、超音波診断装置等の主要装置については製造会社または代理店の技術者による説明を行う。
 5. 機材の操作面の表示及び取扱説明書は原則として西語とする。
 6. 対象病院の維持管理部門に最低限医療機材の故障個所について、病院内および現地代理店の技術者に故障の状況の説明が出来るレベルの電気技術者の雇用を要請する。厚生省に日本政府の協力で導入された機材について、保守に必要な特別予算枠の設定を要請する。
 7. 厚生省に日本政府の協力で導入された機材について使用状況、保守管理状況の定期的報告を要請する。
- 2) 機材据付予定場所の検討
現地調査をとおして要請されている機材の設置場所は各病院の現有機材を撤去し、

導入機材をその場所に設置する方法で実施することが確認された。また新規導入についてもそれぞれの部門が現在使用している部屋に設置され、同部門の現有要員により維持管理されることが確認された。

一方、次の機材については、病院側の施設の増設等の工事が進められている等の事情で現有機材の設置場所とは異なる場所に設置する。

・サン・マルコス国立病院の手術機材；

同病院は調査時(1999年5月)には手術室を新設中であり2ヶ月後に完成予定と報告された。工事現場の実際調査、工事の確認等により要請された手術台、无影灯等を新規の手術室に設置することに問題はない。

・エリサ・マルチネス国立小児病院の臨床検査機材；

同病院は臨床検査棟の拡張工事が進められているが、病院側の示す図面および工程表等により、要請された臨床検査機材が拡張されるサイトに設置されることに問題はない。

・メルチョル・デ・メンコス国立病院のX線室；

現在使用中のX線室および暗室は狭く、使用に不相当と判断される。したがって、現在のカルテ室をX線室と暗室に改装し、X線装置等を設置する案をたてた。

このため、現有カルテ室にあるカルテ収納棚及びカルテは病院側により産科棟の新生児室に隣接する室(現在あき部屋)に移設してもらう必要がある。

3) 機材選定

前述の「プロジェクトの基本構想」及び「プロジェクトの最適案に係る基本設計」で説明した内容を踏まえて、本計画の機材選定を行い、次に示す「要請機材の検討表」にまとめた。同表の中で示した要請機材およびB/D結果欄の数量、優先順位は厚生省との協議の後に署名された「ミニッツ」に添付された機材リストの内容である。また、数量欄が空白な機材は調査団が帰国後の解析の段階で要請機材より本計画にふさわしいと判断し、最終結果欄に計画数量を記入した。帰国後の解析結果欄には次ページに示した「優先原則・削除原則」を適宜し、それぞれの項目の番号を記載した。最終結果欄の総合評価欄は検討項目の優先原則欄に数字が入られた機材は○印、削除原則欄に数字が入られた機材は×印を記載した。また、計画数量欄には本計画で調達する機材の数量を記載した。

また、同一の機材が複数部門で要請されているケースについては、「優先順位」欄に「J」の記号を付し、部門欄に「総合」欄を設け、病院全体として必要数量等の検討結果を記載した。

[基本的優先原則・削除原則]

1. 優先原則

- (1) 老朽化した機材の更新となる機材
- (2) 数量が明らかに不足している機材の補充となる機材
- (3) 第二次病院あるいは小児専門病院として基本的な診療に不可欠な機材
- (4) 運営維持管理が安易な機材
- (5) 裨益効果が多く見込まれる機材
- (6) 費用対効果が大きな機材
- (7) 医学的有用性が確立している機材

2. 削除原則

- (1) 高額な維持管理費あるいは技術を要する機材
- (2) 試薬、消耗品と同様に「グ」国側で調達可能と判断される機材
- (3) 費用対効果が小さな機材
- (4) 第二次病院あるいは小児専門病院では多用されない機材
- (5) より簡便な代替機材の存在する機材
- (6) 廃棄物等にて環境汚染が懸念される機材
- (7) 現有の要員では使用困難と判断される機材
- (8) 過去の計画の評価調査等で問題点が強く指摘された機材でなお有効な対策が明確でない機材
- (9) 最低限必要な台数以上の機材(非効率、重複する機材あるいは緊急性が低い機材)あるいは緊急性が低い機材

要請機材検討表(サンベニート)

要請機材		B/D結果		痛国後の解析結果		最終結果			
品番	部門	機材名	数量	優先順位	優先原則	検討結果	削除原則	計画数量	総合評価
A-1-1	臨床検査	赤血球/白血球ピペット	1	C					X
A-1-2	臨床検査	双眼顕微鏡	2	J			2		O
A-1-3	臨床検査	ハマトクリット遠心器	1	A					X
A-1-4	臨床検査	ノイエル血球計算板	4	C			2		O
A-1-5	臨床検査	血球ピペット振とう器	1	A					O
A-1-6	臨床検査	ピペット洗浄乾燥器	1	A					O
A-1-7	臨床検査	薬品保冷庫	3	2A,1C					O
A-1-8	臨床検査	電解質測定装置	1	B				8	X
A-1-9	臨床検査	ヘモグロビンメーター	1	A					O
A-1-10	臨床検査	スイング回転攪拌器	1	A			2		O
A-1-11	臨床検査	ガラス器具セット	1	C					X
A-1-12	臨床検査	分光光度計	1	B					O
A-1-13	臨床検査	卓上高圧蒸気滅菌器	2	1A,1C					O
A-1-14	臨床検査	赤血球沈降速度測定装置	1	C			2		X
A-1-15	臨床検査	マイクロヘマトクリット読取器	2	C			2		X
A-1-16	臨床検査	血球計算板セット	2	C			2		X
A-2-1	臨床検査	卓上計算器	1	A			2		X
A-2-2	臨床検査	卓上遠心器	2	1A,1B					O
A-2-3	臨床検査	恒温水槽	2	A					O
A-2-4	臨床検査	試験管および試験管立セット	2	C			2		X
A-2-5	臨床検査	タイマー	1	A					O
A-2-6	臨床検査	双眼顕微鏡	1	J					O
A-2-7	臨床検査	双頭双眼顕微鏡	1	B					O
A-2-8	臨床検査	卓上高圧蒸気滅菌器	1	C				9	X
A-2-9	臨床検査	薬品保冷庫	1	C				9	X
A-3-1	臨床検査	恒温水槽	1	C				9	X
A-3-2-X	臨床検査	プレート振盪器	1	B					O
A-3-3	臨床検査	薬品保冷庫	1	C				9	X
A-3-4-M	臨床検査	液体保存用冷蔵庫、中型	1	C				9	X
A-3-4-S	臨床検査	フクチン保存用冷蔵庫、小型	1	C				9	X
A-3-5	臨床検査	ペーパーメーター	1	B			4		X
A-3-6	臨床検査	マイクロピペットセット	2	C			2		X
A-3-7	臨床検査	双眼顕微鏡	1	J					X
A-4-1	臨床検査(血液銀行)	血漿分離器	1	C				4	X
A-4-2	臨床検査(血液銀行)	献血台	1	A					O
A-4-3	臨床検査(血液銀行)	採血セット	1	C			2		X
A-4-4	臨床検査(血液銀行)	血液貯蔵冷蔵庫	1	A					O
A-4-5	臨床検査(血液銀行)	水平回転乾燥とう器(分離器を含む)	1	A					O

要請機材検討表 (サン・ベニート)

要請機材			焼固後の解肝結果	
品番	部門	機材名	優先原則	削除原則
A-4-8	臨床検査(血液銀行)	血液型用遠心器	1 3 4	
A-4-9	臨床検査(血液銀行)	血小板回転器		4
A-4-10	臨床検査(血液銀行)	シーラー	2 3 4	2
A-4-11	臨床検査(血液銀行)	電子天秤		9
A-4-12	臨床検査(血液銀行)	桌上遠心器		9
A-4-13	臨床検査(血液銀行)	ヘマトクリット遠心器		9
A-4-14	臨床検査(血液銀行)	恒温水槽	1 3 4	
A-5-1	臨床検査(細菌)	孵卵器	2 3 4	
A-5-2	臨床検査(細菌)	バーナーセット(プロパンガス用)	2 3 4	
A-5-3	臨床検査(細菌)	乾熱滅菌器	2 3 4	
A-5-4	臨床検査(細菌)	高圧蒸気滅菌装置(縦型)	1 3 4	
A-5-5	臨床検査(細菌)	コロニーカウンター	2 3 4	
A-5-6	臨床検査(細菌)	無菌箱	1 3 4	9
A-5-7	臨床検査(細菌)	試験管ミキサー		
A-5-8	臨床検査(細菌)	双眼顕微鏡		9
A-5-9	臨床検査(細菌)	薬品保冷庫		
A-5-10	臨床検査(細菌)	マイクロピペットセット	1 3 4	7
B-1-1	放射線	移動診断用X線装置	1 3 4	7
B-1-3	放射線	一般X線撮影装置	2 3 4	7
B-2-1	放射線	X線フィルムカセット	2 3 4	7
B-2-2	放射線	X線防護具セット	1 3 4	
B-2-3	放射線	フィルム現像タンク	2 3 4	
B-2-4	放射線	暗室用機材セット	1 3 4	9
B-2-5	放射線	X線フィルムキャビネット		9
C-1-2-X	麻酔・救急	人工呼吸器	2 3	7
C-1-2-Y	麻酔・救急	患者監視装置	2 3	7
C-1-3	麻酔・救急	心電計	総合参照	
C-1-4	麻酔・救急	酸素流量計	総合参照	
C-1-5	麻酔・救急	喉頭鏡(大人用)	総合参照	
C-1-6-ACI	麻酔・救急	麻酔器用マスクセット		2
C-1-7	麻酔・救急	麻酔器用回路セット		2
C-1-8	麻酔・救急	麻酔器用回路セット		
C-1-9-A	麻酔・救急	蘇生バックセット(大人用)	総合参照	2
C-1-10	麻酔・救急	挿管チューブセット	2 3	7
C-1-13-E-AC	麻酔・救急	バルスオキシメーター(大人、小児用センサー)		
C-1-13-B-AC	麻酔・救急	バルスオキシメーター、パッチリー式(大人、小児用センサー)	2 3 4 5 6 7	9
C-2-1	麻酔・救急	蘇生器具セット	2 3 4	
C-2-2	麻酔・救急	除細動装置	2 3 4	7

要請機材検討表(サン・ベニート)

品番		部門	機材名	要請機材		B/D結果		検討結果		削除原則		総合評価	数量
						数量	優先順位	優先原則	検討結果	削除原則			
C-2-3	麻酔・救急		蘇生バックセット(小児用)			1	J	総合欄参照					
C-2-4-Y	麻酔・救急		ストレッチャー(背面可動式)			4	J	総合欄参照					
C-2-5	麻酔・救急		ネブライザー			1	J	総合欄参照					
C-3-1	小児救急		検診灯			1	J	総合欄参照					
C-3-2	小児救急		吸引器			1	J	総合欄参照					
C-3-3	小児救急		低圧持続吸引器			1	J	総合欄参照					
C-3-4	小児救急		蘇生バックセット(小児用)			1	J	総合欄参照					
C-3-5-X	小児救急		ストレッチャー			2	J	総合欄参照					
C-3-6-C	小児救急		車椅子(小児用)			2	J	総合欄参照					
C-3-7	小児救急		酸素ボンベカート			2	A	2 3 4				○ 2	
C-3-8	小児救急		煮沸消毒器			1	J	総合欄参照					
C-3-9	小児救急		救急カート			1	A	2 3 4				○ 1	
C-3-10	小児救急		小児用喉頭鏡セット			1	A	総合欄参照					
C-3-11	小児救急		ネブライザー			1	J	総合欄参照					
C-3-12-C	小児救急		蘇生バックセット(小児用)			1	J	総合欄参照					
C-3-13	小児救急		血圧計、スタンド型			1	J	総合欄参照					
C-3-14	小児救急		挿管チューブセット			1	C	総合欄参照					
C-3-15	小児救急		酸素ヘッドボックス			1	B	2 3 4				X 0	
C-3-16-C	小児救急		ベッドサイドモニター(小児用センサー)			1	J	総合欄参照				○ 1	
C-3-17	小児救急		小児ベッド			1	A	2 3 4				○ 1	
C-3-18-Cy	小児救急		酸素流量計(ボンベ用)			1	C	総合欄参照				X 0	
C-3-19	小児救急		回診車			1	J	総合欄参照					
C-3-20	小児救急		器械戸棚			1	J	総合欄参照					
C-3-21	小児救急		検眼/耳鼻鏡診断セット			1	J	総合欄参照					
C-3-22	小児救急		シャウカステン			1	J	総合欄参照					
C-3-23-C	小児救急		小児用人工呼吸器			1	B	2 3				○ 1	
C-3-26	小児救急		加湿器			1	C	2 3				X 0	
D-1-1	婦人科		検眼/耳鼻鏡診断セット			2	J	総合欄参照					
D-1-2	婦人科		血圧計、スタンド型			2	J	総合欄参照					
D-1-3	婦人科		小手術器具セット(大人用)			2	C	総合欄参照				X 0	
D-1-4	婦人科		異物掻出セット			1	A	2 3 4				○ 1	
D-1-5	婦人科		抜糸セット			2	C	2 3 4				X 0	
D-1-6-W	婦人科		縫合器具セット(婦人科用)			2	C	2 3 4				X 0	
D-1-7	婦人科		ワオーターシールセット			2	C	2 3 4				X 0	
D-1-8	婦人科		心電計、架台付き			1	J	総合欄参照					
D-1-9	婦人科		ネブライザー			1	J	総合欄参照					
D-1-10	婦人科		回診車			1	J	総合欄参照					
D-1-11	婦人科		器械戸棚			1	J	総合欄参照					

要請機材検討表(サン・ヘニート)

品番		部門	機材名	B/D結果		撤去後の検討結果		最終結果
				数量	優先順位	優先原則	削除原則	総合評価
D-1-13	婦人科	シャワカステン		2	J	総合欄参照		
D-1-14	婦人科	煮沸消毒器		1	J	総合欄参照		
D-1-16-A	婦人科	ベッドサイドモニター(大人用センサー)		1	J	総合欄参照		
D-1-17-A	婦人科	緑生バッグセット(大人用)		1	J	総合欄参照		
D-1-18	婦人科	吸引器		1	J	総合欄参照		
D-1-19	婦人科	エアコン		1	B	2 3		○ 1
D-1-21	婦人科	検診灯		1	J	総合欄参照		
D-1-22	婦人科	低圧持続吸引器		1	J	総合欄参照		
D-1-24	婦人科	加湿器		1	B		5	× 0
D-1-25	婦人科	車椅子(大人用)		1	J	総合欄参照		
D-2-1	産科	分娩台		1	A	1 3 4		○ 1
D-2-4	産科	産科用超音波診断装置		1	B	2 3 4		○ 1
D-2-5	産科	検診灯		1	J	総合欄参照		
D-2-6	産科	帝王切開器具セット		2	B	1 2 3 4		○ 2
D-2-7	産科	分娩器具セット		3	B	1 2 3 4		○ 3
D-2-8	産科	婦人科検査器具セット		3	C		9	× 0
D-2-9	産科	婦人科検査台		1	A	1 3 4		○ 1
D-2-11	産科	タダラス消毒剤セット		1	C		2	× 0
D-3-1	新生児科	保育器		1	A	1 3		○ 1
D-3-2	新生児科	開放型保育器		1	A	2 3 4		○ 1
D-3-3	新生児科	搬送用保育器		1	A	2 3 4		○ 1
D-3-4	新生児科	光療治療器		1	A	2 3 4		○ 1
D-3-5	新生児科	輸液ポンプ		1	J	総合欄参照		
D-3-6	新生児科	黄疸計		1	A	2 3 4		○ 1
D-3-7	新生児科	血圧計、新生児用		1	A	1 3 4		○ 1
D-3-8	新生児科	聴診器、新生児用		4	A	1 3 4		○ 4
D-3-9	新生児科	アブネアモニター		1	C		5	× 0
D-3-10	新生児科	吸引器、新生児用		1	J	総合欄参照		
D-3-11	新生児科	喉頭鏡(新生児用)		1	J	総合欄参照		
D-3-12	新生児科	コット		2	C		2	× 0
D-3-13-I	新生児科	ベッドサイドモニター(新生児用センサー)		1	J	総合欄参照		
E-1-1-A	外科	手術台		1	A	1 3 4		○ 1
E-1-2	外科	无影灯		1	A	1 3 4		○ 1
E-1-3	外科	電気メス		1	A	1 3 4		○ 1
E-1-4	外科	吸引器		2	J	総合欄参照		
E-1-5	外科	吸引器(小型)		2	C			× 0
E-1-6-SU	外科	縫合器具セット(外科用)		2	C		2	× 0
E-1-7-T	外科	煮沸消毒器		1	J	総合欄参照		

要請機材検討表(サン・ベニート)

要請機材		検討結果		検討結果		検討結果	
品番	部門	機材名	数量	優先順位	優先原則	削除原則	最終結果
E-1-7-F	外科	煮沸消毒器(足踏み式)			2 3 4		○
E-1-8	外科	シャワカステン	1	J	総合参照		○
E-1-9	外科	移動用手術灯(非常用電源付)	1	A	2 3 4		○
E-1-11-X	外科	ストレッチャー	1	J	総合参照		
E-1-12	外科	器械戸棚	1	J	総合参照		
E-1-13	外科	回診車	1	J	総合参照		
E-2-1-A	整形外科	整形外科手術器械基本セット(大人用)	1	A	2 3 4		○
E-2-2	整形外科	整形外科手術台牽引装置付	1	A	2 3 4		○
E-2-3-A	整形外科	整形外科用ベッド(大人用)	1	A	2 3 4		○
E-2-4	整形外科	ギプス台	1	C	2 3 4		○
E-2-5	整形外科	ギプスカッター	1	A	1 3 4		○
E-2-6	整形外科	器械戸棚	1	J	総合参照		
E-2-7	整形外科	煮沸消毒器	1	J	総合参照		
E-2-8-X	整形外科	骨密固定ピンセット	1	C	2 3 4		○
E-2-9	整形外科	電動型万能骨手術鋸	1	A	2 3 4		○
E-2-10-X	整形外科	鎖椎固定セット	1	C	2 3 4		○
F-1-1-A	手術室	小手術器具セット(大人用)	2	B	2 3 4		○
F-1-2-A	手術室	大手術器具セット(大人用)	2	B	2 3 4		○
F-1-3-A	手術室	膝関節非侵襲セット(大人用)	1	C			○
F-1-4-A	手術室	創面切除セット(大人用)	1	C			○
F-1-5-A	手術室	開腹セット(大人用)	1	B	2 3 4		○
F-1-6	手術室	エアコン	1	B	2 3 4		○
F-1-8	手術室	血管手術器具セット	1	B	2 3 4		○
F-2-1	中央材料室	機材カート	1	C			○
F-2-2	中央材料室	保管棚	1	C			○
F-2-3-S	中央材料室	高圧蒸気滅菌装置(小型)	1	A			○
F-2-4	中央材料室	グローブ攪粉器	1	C	1 3 4		○
G-1-1	歯科	煮沸消毒器	1	J	総合参照		○
G-1-2	歯科	歯科ユニット、コンプレッサー付	1	A	1 3 4		○
G-1-3	歯科	術者用椅子	1	A	1 3 4		○
G-1-4	歯科	歯科用X線装置	1	A	1 3 4		○
G-1-5	歯科	処置棚	1	A	1 3 4		○
G-2-1-A	歯科	歯科器具セット(大人用)	1	B	1 3 4		○
G-2-2	歯科	歯科用X線現像装置	1	A			○
G-2-3	歯科	口腔外科セット	1	C			○
H-1-1	管理	救急車	1	B			○
H-1-2	管理	医療巡回サービス車	1	B	2 3 4		○
H-1-3	管理	パソコン、プリンター付き	2	B			○

要請機材検討表(サン・ベニート)

要請機材			検討結果		最終結果	
品番	部門	機材名	優先原則	削除原則	総合評価	計画数
H-1-5	管理	薬品保冷庫	3		○	1
H-2-1	キッチン	キッチンガスレンジ	4		×	0
H-2-2	キッチン	冷蔵庫			×	0
H-2-4	キッチン	冷凍庫			×	0
H-2-5	キッチン	野菜冷蔵庫			×	0
H-2-6	キッチン	ミキサー			×	0
H-3-1	ランドリー	洗濯脱水機			×	0
H-3-2	ランドリー	乾燥機			×	0
H-3-3	ランドリー	ランドリーカート、汚染衣類用			×	0
H-3-4	ランドリー	ランドリーカート、清潔衣類用			×	0
H-4-1	維持管理	電気ドリルセット		5	×	0
H-4-2	維持管理	電動グラインダーセット		5	×	0
H-4-3	維持管理	ハイブレンチセット		5	×	0
H-4-4	維持管理	電気溶接セット		5	×	0
H-4-5	維持管理	万力作業台		5	×	0
H-4-6	維持管理	高速カッター		5	×	0
H-4-7	維持管理	双頭グラインダー		5	×	0
H-4-8	維持管理	機械・電気作業用工具セット		5	×	0
H-4-9	維持管理	ドライバークセット		5	×	0
H-4-10	維持管理	レンチセット		5	×	0
H-4-11	維持管理	ダイスセット		5	×	0
H-4-12	維持管理	六角レンチセット		5	×	0
H-4-13	維持管理	プライヤーペンチセット		5	×	0
H-4-14	維持管理	モンキーレンチセット		5	×	0
H-4-15	維持管理	ハンマー		5	×	0
H-4-16	維持管理	マルチテスター		5	×	0
H-4-18	維持管理	マルチバイス	2		○	1
H-4-20	維持管理	マルチテスター	2		○	1
H-4-23	維持管理	ハンダコテセット	2		○	1
H-4-27	維持管理	ペンセット	2		○	1
H-4-29	維持管理	工具セット(ドライバーク、ペンチ等)	2		○	1
H-4-30	維持管理	電気ドリル	2		○	1
H-4-31	維持管理	ドリルセット	2		○	1
H-4-32	維持管理	タップセット	2		○	1
H-4-33	維持管理	タップハンドル	2		○	1
H-4-35	維持管理	コンプレッサ	2		○	1
H-4-36	維持管理	エアタスター	2		○	1
H-4-37	維持管理	コードリール	2		○	1

要請機材検討表(サン・ヘニート)

要請機材		B/D結果		届出後の機材結果 検討結果		最終 結果	
品番	部門	機材名	数量	優先順位	優先原則	削除原則	総合 評価
H-4-38	維持管理	ポータブルカート			2		○
J-3-L	総合	吸引器(大型)	3	A			×
J-3-M	総合	吸引器(中型)			3 4	7	○
J-3-S	総合	吸引器(小型)			1 3 4	7	○
J-7	総合	検眼/耳鼻鏡診断セット	1	A	1 3 4	7	○
J-9-A.C	総合	喉頭鏡(大人用、小児用)	2	A	1 2 3 4	7	○
J-9-I	総合	喉頭鏡(新生児用)	1	A	1 3 4	7	○
J-10-Cy	総合	酸素流量計(ボンベ用)	6	A	2 3 4		○
J-12	総合	煮沸消毒器	3	A	1 2 3 4	7	○
J-13-A.C	総合	蘇生バックセット(大人用、小児用)	5	A	1 3 4	7	○
J-13-I	総合	蘇生バックセット(新生児用)	2	A	2 3 4		○
J-14	総合	心電計、架台付き	2	A	2 3 4	7	○
J-15-X	総合	ストレッチャー	2	B	1 3 4		○
J-15-Y	総合	ストレッチャー(背面可動式)	5	A	1 3 4		○
J-16	総合	双眼顕微鏡	5	B	1 3 4		○
J-18	総合	ネブライザー	2	2A,1B	1 3 4		○
J-19	総合	患者監視装置	3	A	2 3 4	7	○
J-20	総合	輸液ポンプ	1	A	2 3	7	○